

一般財団法人 黎明郷

弘前脳卒中・リハビリテーションセンター

Hirosaki Stroke and Rehabilitation Center

年報

第8号

2020.4～2021.3



一般財団法人 黎明郷 理念

質の高い医療・リハビリテーションを実践し、
地域社会の保健医療福祉に貢献します。

弘前脳卒中・リハビリテーションセンター 基本方針

- ◆地域に開かれた病院として脳卒中医療に貢献します。
- ◆活発な地域連携（病病連携・病診連携）を展開します。
- ◆最新かつ最適な医療とリハビリテーションを提供します。
- ◆チーム医療により自立への支援に努めます。
- ◆安全に配慮し、快適な入院環境作りを目指します。
- ◆最新の脳卒中医療情報を発信します。

目 次

巻頭言	院 長 鎌田 孝篤	1
施設概要・沿革		2
機構図		3
役員名簿（理事・監事）		4
評議員名簿		5
職員数		6
診療実績（入院患者数等、検査件数）		7
脳ドック・訪問リハビリ実績		9
研修認定施設		10
専門医数		11
治験実績		12
実習受入状況		13
財団事業		14
青森県成人・老人リハビリテーション施設協会		14
学術報告		15
学会発表		15
講演活動 等		17
論文発表 等		18
委員会報告		19
医療安全管理委員会		19
医療器材管理委員会		23
感染対策委員会		26
栄養管理委員会		29
褥瘡対策委員会		32
臨床検査適正化委員会		34
薬事審議委員会		36
診療記録管理委員会		40
電子保存システム管理委員会		42
D P C コーディング委員会		43
倫理委員会		44
衛生委員会		46
部署代表者委員会		49
教育研修委員会		51
施設運用委員会		52
広報委員会		54
患者サービス委員会		55
レクリエーション委員会		59
I C T		61
D S T		68
脳ドック ワーキンググループ		70
心臓リハビリテーション ワーキンググループ		77
口腔ケア ワーキンググループ		79
編集委員		81

巻 頭 言

弘前脳卒中・リハビリテーションセンター
院 長 鎌 田 孝 篤

弘前脳卒中・リハビリテーションセンター年報第 8 号（令和 2 年度）が発刊の運びとなりました。

令和 2 年度から新型コロナの波状攻撃が続いています。その間隙を縫う形で令和 2 年 10 月 10 日青森県成人・老人リハビリテーション施設協会研修会が開催され弘前大学大学院医学研究科リハビリテーション医学講津田英一教授からご講演『転倒による骨折の予防を考える』を頂きました。一方、青森県高次脳機能障害者リハビリテーション講演会は残念ながら中止となりました。さらに財団主催の脳卒中市民講座も中止となりました。

弘前脳卒中・リハビリテーションセンターとしてスタートして 10 年目の令和 2 年度も救急紹介患者を断らず、脳卒中類縁疾患も広く受け入れ、回復期リハ病棟の退院調整を積極的行なうことなどを継続しましたが、一般病棟の 8 月、9 月の稼働率はここ数年で経験したことがないくらい低迷しました。回復期病棟の稼働率もそのあおりを受けて 10 月から 12 月まで低迷しました。新型コロナが何らかの影響を与えていたか定かではありませんが冬場に文字通り V 字回復し、年間を通じた病院全体の病棟稼働率は令和元年度の 95.5%に及びませんが 90.2%と目標に近い数字となりました。回復期リハビリテーション病棟指数では一日一人あたりリハ提供単位数は 6.26 と改善しています。

検査・手術件数はほぼ前年度に匹敵する数値となっています。脳ドック実績と訪問リハビリ実績も同様です。

各委員会報告のなかで医療機材管理委員会、感染対策委員会の内容はほぼ新型コロナ関係でしめられています。レクリエーション委員会からは新入職員歓迎会、ボウリング大会、忘年会の中止の報告がありました。現時点（令和 4 年 2 月）は第 6 波の真っ只中で当センターの感染対策室も連日対応に追われています。新型コロナの流行は丸 2 年経過しました。今年こそは新入職員歓迎会を皮切りに予定通り開催されることを願っています。

令和 2 年度の年報は新型コロナ禍のセンターの診療や情報発信の現状を示す指標であり、問題点の分析と改善に向けての貴重な資料となるものであります。今後に向けて、十分に吟味し活用されることを願っております。

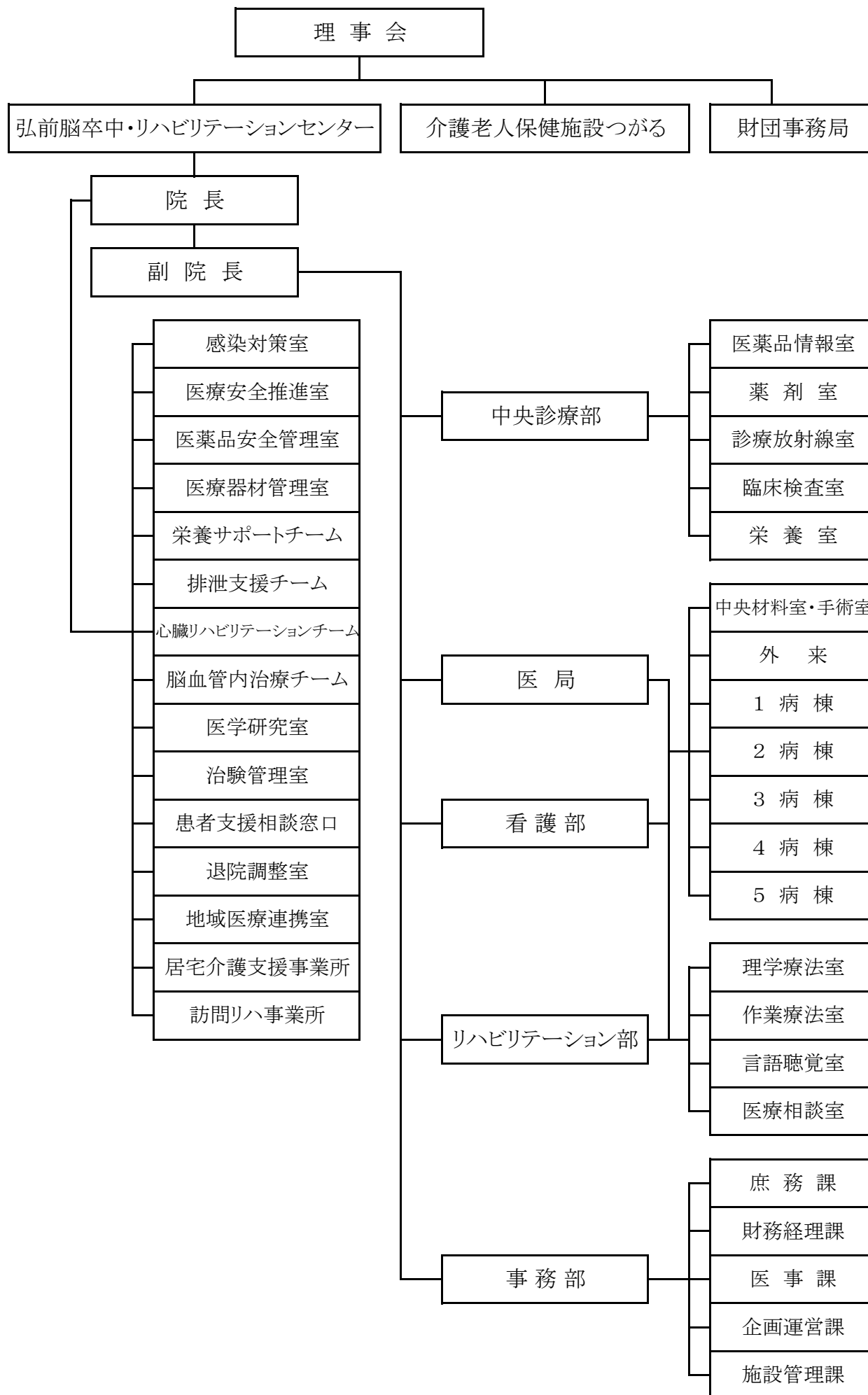
年報を担当した広報委員会の佐々木都子委員長をはじめ、各委員書誌の労に敬意を表したいと存じます。

施設概要

年 月	内 容
平成17年 7月	弘前脳卒中センター開設（145 床） 構造/鉄筋コンクリート造り地上4 階 敷地面積 19,872.80 m² 建築延面積 11,414.94 m² 一般病棟 35 床 回復期リハビリテーション病棟 110 床 内科、神経内科、脳神経外科、リハビリテーション科、整形外科
平成23年 4月	弘前脳卒中・リハビリテーションセンター開設 （名称変更） （248 床） 構造/鉄筋コンクリート造り地上4 階 敷地面積 25,828.95 m² 建築延面積 18,579.55 m² 一般病棟 79 床 回復期リハビリテーション病棟 169 床 内科、神経内科、脳神経外科、リハビリテーション科、整形外科、歯科
平成25年 4月	診療科目変更 脳・血管内科、循環器内科、内科、脳神経外科、リハビリテーション科、神経内科、放射線科、歯科

沿 革

年 月	内 容
昭和41年 4月	青森県知事より財団法人黎明郷の設立認可
昭和41年 7月	碓ヶ関村より診療所の委託を受け診療を開始（10 床）
昭和42年 4月	黎明郷リハビリテーション病院開設(60 床、昭和 57 年 7 月 248 床)
昭和60年 9月	黎明郷リハビリテーション病院に高血圧センター併設
平成15年 4月	黎明郷リハビリテーション病院に介護老人保健施設つがるを併設
平成17年 7月	弘前脳卒中センター開設（145 床）内科・神経内科・脳神経外科・リハビリテーション科・整形外科
平成17年 7月	弘前脳卒中センター開設に伴い黎明郷リハビリテーション病院（103 床）となる
平成23年 4月	弘前脳卒中センターと黎明郷リハビリテーションを統合し、弘前脳卒中・リハビリテーションセンターを開設(248 床) 開設に伴い黎明郷リハビリテーション病院は廃止 碓ヶ関診療所(無床) を開設
平成24年 3月	碓ヶ関診療所廃止
平成25年 4月	一般財団法人へ移行



役員名簿

令和2年3月31日現在

氏 名	所属・職名 等
保嶋 実 (理事)	一般財団法人 黎明郷 理事長
奥村 謙 (理事)	済生会熊本病院心臓血管センター 循環器内科 最高技術顧問
富田 泰史 (理事)	弘前大学大学院医学研究科 循環器腎臓内科学講座 教授
高梨 信吾 (理事)	弘前大学保健管理センター 所長・教授
長内 智宏 (理事)	弘前大学大学院保健学研究科 看護学領域 教授
玉田 友一 (理事)	玉田内科医院 院長
長尾 忠行 (理事)	平川市長
山田 年伸 (理事)	大鰐町長
鹿内 勲 (理事)	(株)青森銀行 常務取締役弘前地区営業本部長
佐藤 陽子 (理事)	元青森県環境生活部長
鎌田 孝篤 (理事)	一般財団法人 黎明郷 院長
小林 正志 (理事)	一般財団法人 黎明郷 事務局長
阿部 誠 (監事)	阿部誠税理士事務所
葛西 俊介 (監事)	(株)青森銀行 執行役員 弘前支店長

評議員名簿

令和3年3月31日現在

氏 名	所属・職名 等
吉岡 利忠	弘前学院大学 学長
込山 稔	社会福祉法人 藤聖母園 理事
梅村 芳文	梅村医院 院長
畑山 亨	畑山医院 院長
葛西 聡	あすなろ法律事務所 弁護士
奈良岡 勇造	元青森県生活環境部 理事
村田 大六	豊田地区町会連合会 会長
横山 篤	介護老人保健施設つがる 施設長
萩井 譲士	弘前脳卒中・リハビリテーションセンター 副院長
内沢 隆充	弘前脳卒中・リハビリテーションセンター 副院長
清野 聡	弘前脳卒中・リハビリテーションセンター 副院長
樋口 三枝子	弘前脳卒中・リハビリテーションセンター・介護老人保健施設つがる 看護部長

職員数

※過去3年分について掲載

職 種	平成30年度	令和元年度	令和2年度
医 師	18	19	19
薬剤師	9	7	9
診療放射線技師	6	7	8
臨床検査技師	8	8	8
理学療法士	58	60	65
作業療法士	56	56	64
言語聴覚士	7	7	8
医療相談員	11	10	10
医療部助手	1	2	1
管理栄養士	4	4	4
看護師	159	151	149
准看護師	19	22	25
看護助手	38	30	26
歯科衛生士	2	2	2
介護支援専門員	2	2	2
事務員	41	39	42
合 計	439	426	442

各年度4月1日現在

診療実績 入院患者数

※過去3年分について掲載

		平成30年度	令和元年度	令和2年度
延患者数（人）		81,464	86,677	81,657
病床数		248	248	248
病床稼働率（％）		90.0	95.5	90.2
一日平均患者数（日） 一般病棟		67	70	64
回復期病棟		162	163	157
平均在院日数（日）	一般病棟	17.8	18.3	18.2
	回復期病棟	88.4	82.1	82.8
新患受入件数（件）	a. 救急車	648	584	535
		(30%)	(25.7%)	(26.6%)
	b. 直接来院	1,512	1,687	1,476
		(70%)	(74.3%)	(73.4%)
※ c. 救急車受入のうち入院（件） (c/a)		518 (79.9%)	476 (81.5%)	428 (80%)
一般病棟指標				
在宅復帰率		82.9%	89.5%	85.4%
医療・看護必要度 重症者割合		30.0%	35.9%	21.8%
回復期リハビリテーション病棟指標				
在宅復帰率		80.2%	83.6%	86.7%
新規入棟患者重症者割合〔A項目〕		24.4%	—（※）	—（※）
新規入棟患者重症者割合〔B項目〕		54.9%	53.3%	49.3%
重症患者回復割合（退棟時）		49.8%	59.3%	60.8%
回復期病棟延患者数（人）		56,880	60,322	57,859
実施リハ単位数		358,340	339,943	362,417
一日一人当たりリハ提供単位数		6.30	5.64	6.26
脳卒中地域連携パス適用患者数（平成25年9月～）		0	0	0

（※）平成30年4月～廃止

診療実績 検査・手術件数

※過去3年分について掲載

		平成30年度	令和元年度	令和2年度
MR I		4,700	4,522	4,018
C T		4,365	4,217	3,903
単純C T撮影		—	3,721	3,610
超音波	頚動脈	1,373	1,450	1,294
	心臓	1,116	1,105	1,081
	経食道心臓	533	512	140
	その他	54	100	106
	合計	3,076	3,167	2,621
A B I（脈波）		866	862	879
ホルター心電図		916	945	962
血管造影	脳血管造影	59	42	22
	頭頸部血管造影	—	—	—
	大動脈造影	—	—	—
	心臓カテーテル検査	10	12	14
	下肢血管造影	2	3	1
	合計	71	57	0
透視下検査	嚥下造影	41	30	46
	上部消化管造影	—	—	—
	透視のみ	4	—	2
	合計	45	30	48
内視鏡	内視鏡下胃瘻造設術	—	—	—
	胃瘻交換	13	10	7
	胃・十二指腸ファイバースコピー	4	4	3
	食道ファイバースコピー	0	—	—
	合計	17	14	10
血栓溶解療法（t-P A）		25	21	22
頚動脈ステント留置術		12	12	9
経皮的脳血管形成術		1	1	0
経皮的脳血栓回収術		11	3	3
ペースメーカー移植・交換術		4	3	5
気管切開術		3	2	2
運動器リハビリテーション			11	31
心大血管疾患リハビリテーション			25	21
脳血管疾患リハビリテーション			1,385	1,281

脳ドック実績

単位:件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平成30年度	4	3	6	12	16	14	11	19	18	6	5	4	118
令和元年度	4	2	5	12	13	13	22	15	18	16	18	5	143
令和2年度	0	0	7	17	18	21	22	16	15	11	1	13	141

※過去3年分について掲載

訪問リハビリ実績

単位:件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平成30年度	220	226	217	216	217	181	214	207	198	196	199	221	2,512
令和元年度	208	219	198	219	189	192	209	208	194	189	208	214	2,447
令和2年度	201	171	220	242	212	224	233	221	205	189	189	227	2,534

※過去3年分について掲載

研修認定施設

	認 定 学 会	認 定 期 間
1	日本脳卒中学会認定研修教育病院	2013. 4. 1～2014. 12. 31 2015. 1. 1～2016. 12. 31 2017. 1. 1～2020. 3. 31 2020. 4. 1～2021. 3. 31
2	日本リハビリテーション医学会認定研修施設	2012. 4. 1～2017. 3. 31 2017. 4. 1～2022. 3. 31
3	日本静脈経腸栄養学会N S T稼働認定施設	2014. 4. 1～2019. 3. 31 2019. 4. 1～2024. 3. 31
4	日本高血圧学会専門医認定施設	2012. 4. 1～2017. 3. 31 2017. 4. 1～2022. 3. 31
5	日本循環器学会認定循環器専門医研修関連施設	2013. 4. 1～2015. 3. 31 2015. 4. 1～2017. 3. 31 2017. 4. 1～2019. 3. 31 2019. 4. 1～2021. 3. 31

専門医数

単位：人

資 格	計
日本高血圧学会認定専門医	1
日本循環器学会認定循環器専門医	5
日本腎臓学会腎臓専門医	1
日本内科学会総合内科専門医	6
日本臨床検査医学会臨床検査専門医	1
日本脳卒中学会認定脳卒中専門医	6
日本脳神経外科学会認定脳神経外科専門医	1
日本脳神経血管内治療学会認定専門医	1
日本リハビリテーション医学会リハビリテーション科専門医	1
合 計	22

令和3年3月31日現在

※合計は延べ人数

治験実績

年度	内 容
令和 2 年度	DU-176b 第Ⅲ相臨床試験（非弁膜症性心房細動） 既存の経口抗凝固薬の投与が困難な 80 歳以上の非弁膜症性心房細動患者を対象とした多施設共同無作為化プラセボ対照二重盲検比較試験
令和 2 年度	脳梗塞再発リスク因子を有する血栓性脳梗塞患者を対象とした CS-747S のクロピドグレル硫酸塩との二重盲検比較試験

実習受入状況

※過去3か年分について掲載

平成30年度	医局	看護部	リハビリテーション部				栄養室	事務	全体
			P T	O T	S T	MSW			
延件数 (単位：件)	5	22	17	21	6	1	1	1	74
延人数 (単位：人)	171	974	450	472	206	24	12	4	2313

令和元年度	医局	薬剤室	看護部	リハビリテーション部				栄養室	事務	全体
				P T	O T	S T	MSW			
延件数 (単位：件)	7	1	18	14	16	3	2	2	2	65
延人数 (単位：人)	365	54	756	385	72	78	46	42	7	1805

令和2年度	医局	薬剤室	看護部	リハビリテーション部				栄養室	事務	全体
				P T	O T	S T	MSW			
延件数 (単位：件)	4	4	8	12	11	5	2	2	1	49
延人数 (単位：人)	179	212	1107	223	297	128	46	35	12	2239

財団事業(事務局)
青森県成人・老人リハビリテーション施設協会
令和元年度事業活動報告

青森県成人・老人リハビリテーション施設協会研修会

開催日時：令和2年10月10日(土) 15:00～16:20

開催場所：リンクステーションホール青森 5階 大会議室

参加者：40名

1. 講演

座長：弘前脳卒中・リハビリテーションセンター

リハビリテーション科部長 岩田 学 先生

『転倒による骨折の予防を考える』

講師：弘前大学大学院医学研究科 リハビリテーション医学講座

教授 津田 英一 先生

学術報告—全国学会

年 月 日		学会・研究会名	演 題	主演者
1	令和2年 7月18日 ～ 7月19日	第26回日本心臓リハビリテーション学会学術集会(web開催)	当院心臓リハビリテーションにおける作業療法の関わり	小野 公久
2	令和2年 7月27日 ～ 8月2日	第84回日本循環器学会学術集会(web開催)	Mutational analysis of β -arrestin in Japanese patients with coronary spastic angina	山田 奈津美
3	令和2年 8月19日 ～ 8月22日	第57回日本リハビリテーション医学会学術集会(web開催)	肺内パーカッションベンチレーションが著効した扁桃腺摘出後の嚥下障害	藤田 彩香
4	令和2年 8月19日 ～ 8月22日	第57回日本リハビリテーション医学会学術集会(web開催)	回復期脳卒中片麻痺患者に対する随意運動介助型電気刺激装置の効果の研究 ～シングルケースによる検討～	渡部 清寛
5	令和2年 8月23日 ～ 9月24日	第45回日本脳卒中学会学術集会(web開催)	心原性脳梗塞栓症の鑑別および脳梗塞予後予測におけるBNP・D-dimerの有用性	白戸 弘志
6	令和2年 8月23日 ～ 9月24日	第45回日本脳卒中学会学術集会(web開催)	レンズ核線条体動脈領域後方の小梗塞におけるヒドロキシエチルデンプン130/0.4の輸液による医療費削減効果	藤田 彩香
7	令和2年 8月23日 ～ 9月24日	第45回日本脳卒中学会学術集会(web開催)	「いつもと違う」は重要な所見	田川 早苗
8	令和2年11月	第35回日本臨床栄養代謝学会学術集会特別大会(誌面開催)	当院における高濃度経腸栄養メイバランス2.0の継続使用の報告	今井 真子
9	令和2年 11月19日 ～ 11月21日	第36回日本脳神経血管内治療学会学術総会(web開催)	内頸動脈解離を伴った急性期虚血性脳卒中に対する血行再建術で使用した血管内超音波の有用性	齋藤 新
10	令和2年 11月28日 ～	第18回日本神経理学療法学会学術大会(web開催)	Virtual Reality視聴を用いた歩行時の疑似的錯誤が、脳卒中患者の歩行パラメーターに及ぼす影響	渡邊 洸
11	令和2年 11月28日 ～	第18回日本神経理学療法学会学術大会(web開催)	仮想現実にて速度誤認識を形成させた際の前進および後進歩行の脳血流量変化に関する検討	田口 惇
12	令和3年 3月2日 ～ 3月31日	2020年度回復期リハビリテーション病棟協会研究発表会(web開催)	当院リハスタッフに対する「セラピスト10カ条」を用いたアンケート調査	浅利 尚美
13	令和3年 3月2日 ～ 3月31日	2020年度回復期リハビリテーション病棟協会研究発表会(web開催)	脳卒中重度左片麻痺患者の自宅退院への挑戦 ～家族と多職種の協働が有効であった一例～	小田桐 紅葉
14	令和3年 3月11日 ～ 3月13日	第46回日本脳卒中学会学術集会(web開催)	植込み型心電計移植術を行った潜在性脳梗塞症例の予後の検討	齋藤 新
15	令和3年 3月11日 ～ 3月13日	第46回日本脳卒中学会学術集会(web開催)	脳梗塞患者の発作性心房細動検出における入院時心電図検査の有用性	白戸 弘志

学術報告—地方会

年 月 日		学会・研究会名	演 題	主演者
1	令和2年 8月23日 ～ 9月6日	第170回日本循環器学会東北地方会(web開催)	劇症型心筋炎様の重症心不全とし発症し、後にたこつぼ心筋症が疑われた一例	濱舘 美里
2	令和2年 10月17日 ～ 10月18日	第38回東北理学療法学術大会(web開催)	非骨傷性脊髄損傷不全麻痺で歩行器使用にて歩行獲得に至った一例	村田 聡美
3	令和2年 10月17日 ～ 10月18日	第38回東北理学療法学術大会(web開催)	歩行神経筋電気刺激装置ウォークエイド®使用前後での身体機能と歩行能力の変化について	鎌田 優作
4	令和2年 11月14日	第49回青森県看護学会(青森市)	IPV導入に伴う看護師の関わりと抱える困難感	工藤 夏美
5	令和2年 11月14日	第49回青森県看護学会(青森市)	回復期病棟における在宅療養移行支援の実情	工藤 汐里
6	令和3年 1月30日 ～ 2月6日	第49回日本心血管インターベンション治療学会東北地方会(web開催)	OCTでステント留置後の冠攣縮の判別に難渋した急性心筋梗塞の一例	酒井 峻太郎

学術報告—講演活動 等

年 月 日		名 称	演 題 名	主 演 者
1	令和2年 9月11日	令和2年度栄養・食育マネジメント セミナーⅡ (青森県立保健大学)(青森市)	職を通して食をみる	算用子 暁美
2	令和2年 9月13日	一般社団法人青森県作業療法 士会 2020年度現職者研修会 (弘前市)	作業療法における協業・後輩育成	算用子 暁美
3	令和2年 10月9日	第1回青森摂食・嚥下・栄養セミ ナー(青森県リハビリテーション医 学研究会、大塚製薬工場、イー エヌ大塚製薬)(弘前市)	全身を整える嚥下リハビリテーション	藤田 彩香
4	令和2年 11月25日	一般社団法人青森県作業療法 士会 弘前ブロック勉強会(弘前市)	OTさんのための周術期管理の基礎 知識	藤田 彩香
5	令和3年 2月27日	高血圧市民公開講座 (日本高血圧協会、武田薬品工 業)(弘前市)	高血圧症と脳卒中	萩井 譲士
6	令和3年 2月27日	高血圧市民公開講座 (日本高血圧協会、武田薬品工 業)(弘前市)	減塩の大切さを確認しましょう	佐々木 都子
7	令和3年 3月24日	Neuro Experts Work For Stroke (日本メトロニック)(web開催)	Atrial High Rate Episodeをどう診るか	齋藤 新

学術報告—論文発表 等

年 月		雑 誌 名	発 表 演 題	発 表 者
1	令和元年6月	脳神経内科 Vol.90(6) (P.670-675)	【塞栓源不明脳塞栓症】 塞栓源不明脳塞栓症の診断基準	奥村 謙 目時 典文
2	令和元年7月	Circulation Journal Vol.83(7) (P.1538-1545)	Baseline demographics and clinical characteristics in the all Nippon Af in the elderly (ANAFIE) registry	是恒 之宏 奥村 謙 他
3	令和元年7月	リハビリナース Vol.12(4) (P.396-400)	悩んだ!困った!リハビリ患者さんのゴール設定&退院支援 (CASE11)脳卒中患者と家族へのインスリン指導から、患者の自己効力感を高められた事例	齋藤 輝之
4	令和元年8月	Journal of Stroke and Cerebrovascular Diseases Vol.28(8) (P.2302-2310)	Collagen-induced platelet aggregates, diabetes, and aspirin therapy predict clinical outcomes in acute ischemic stroke	播磨 加朋 萩井 護士 目時 典文 保嶋 実 長内 智宏 他
5	令和2年1月	循環器疾患最新の治療 2020-2021 (P.343-346)	XIII.脳血管障害 1.脳梗塞	萩井 護士 富田 泰史
6	令和2年1月	NeuroReport Vol.31(2) (P.189-196)	Effects of voluntary and forced exercises on motor function recovery in intracerebral hemorrhage rats	佐藤 ちひろ 赤平 一樹 他
7	令和2年2月	Journal of Stroke and Cerebrovascular Diseases Vol.29(2) (DOI:10.1016/j.jstrokecerebrovasdis.2019.104534)	D-dimer and C-reactive protein as potential biomarkers for diagnosis of Trousseau's syndrome in patients with cerebral embolism	對馬 廸子 目時 典文 萩井 護士 齋藤 新 白戸 弘志 保嶋 実 加藤 朋 工藤 奈津美 富田 泰史 他
8	令和2年3月	青森県理学療法士会誌 理学療法研究 Vol.37 (P.8-13)	左後頸部への電気刺激が方向性注意機能に与える影響—周波数の違いに着目して—	高木 慎吾 山本 賢雅 佐々木 都子 岩田 学 他
9	令和2年3月	青森県理学療法士会誌 理学療法研究 Vol.37 (P.14-19)	運動時の注意の向け方の違いが前頭前野血流動態に与える影響	小田桐 伶 他

(※)昨年度実績に記載できなかったため、今年度実績として記載した。

医療安全管理委員会

1. 活動目的

本委員会は、一般財団法人黎明郷 弘前脳卒中・リハビリテーションセンターにおける医療安全管理体制を確立し、医療安全管理のための具体的方策及び医療事故発生時の対応方法について、指針を示すことにより、適切な医療安全管理を実践し、患者様へ安全な医療を提供することを目的とする。

2. 構成員 ※令和3年3月末現在

医療安全管理委員会

委員長 鎌田 孝篤（病院長）

副委員長 樋口 三枝子（看護部長） 藤田 尚子（医薬品情報室副室長）※

メンバー 萩井 譲士（副院長・医療安全推進室室長）※

岩田 学（医局長・副院長代行）※

佐々木 都子（内科部長・リハビリテーション部部長）

算用子 暁美（リハビリテーション部技師長）

工藤 雅令（事務部長）

野沢 正人（事務部次長）令和2年10月1日付にて構成員参加

立林 修（庶務課長）

工藤 正弘（医療安全推進室副室長・看護師長）◆

※医療安全推進室（兼務）

◆専従医療安全管理者

3. 委員会等開催記録

医療安全委員会

回	開催日	内 容
1	令和2年4月15日	医療事故報告書まとめ・院内巡視報告 令和元年度インシデント・アクシデント報告、2020年度部門別業務改善計画書について 医療安全相互チェック改善報告書（健生病院との評価講評） 医薬品副作用などの報告
2	令和2年5月20日	医療事故報告書まとめ・院内巡視報告 4月分インシデント・アクシデント報告 入院申込書の様式変更について 医薬品副作用などの報告
3	令和2年6月17日	医療事故報告書まとめ・院内巡視報告 5月分インシデント・アクシデント報告 令和元年度第1回医療安全研修会について（初電子カルテ） 医薬品副作用などの報告
4	令和2年7月15日	医療事故報告書まとめ・院内巡視報告 6月分インシデント・アクシデント報告 医薬品副作用などの報告

5	令和 2 年 8 月 19 日	医療事故報告書まとめ・院内巡視報告 7 月分インシデント・アクシデント報告 第 1 回医療安全・医薬品安全管理研修会 まとめ・参加集計 医薬品副作用などの報告
6	令和 2 年 9 月 16 日	医療事故報告書まとめ・院内巡視報告 8 月分インシデント・アクシデント報告 医薬品副作用などの報告
7	令和 2 年 10 月 21 日	医療事故報告書まとめ・院内巡視報告 9 月分・上半期インシデント・アクシデント報告 老健つがるから、ストレッチャーからの転落による事例報告 医薬品副作用などの報告
8	令和 2 年 11 月 18 日	医療事故報告書まとめ・院内巡視報告 10 月分インシデント・アクシデント報告 令和 2 年度 第 2 回医療安全・第 1 回医療ガス研修会について 医薬品副作用などの報告
9	令和 2 年 12 月 16 日	医療事故報告書まとめ・院内巡視報告 11 月分インシデント・アクシデント報告 第 2 回医療安全・第 1 回医療ガス研修会 まとめ・参加集計報告 医薬品副作用などの報告
10	令和 3 年 1 月 20 日	医療事故報告書まとめ・院内巡視報告 12 月分インシデント・アクシデント報告 医療安全対策地域連携相互点検について 安全確保のための行動制限説明・同意書について MRI 検査運用規定について 経食道エコー同意書について 医薬品副作用などの報告
11	令和 3 年 2 月 17 日	医療事故報告書まとめ・院内巡視報告 1 月分インシデント・アクシデント報告 医療安全対策地域連携相互点検講評 医薬品副作用などの報告
12	令和 3 年 3 月 17 日	医療事故報告書まとめ・院内巡視報告 2 月分インシデント・アクシデント報告 令和元年度 医療安全部門別業務改善計画評価について 令和元年度 インシデント・アクシデント報告 医療安全対策地域連携相互点検講評 医薬品副作用などの報告

医療安全研修会・医薬品安全研修会

	開催日	内 容
第 1 回	令和 2 年 6 月 19 日 ～ 7 月 5 日	令和元年度 インシデント・アクシデントデータ報告 医療安全問題を通し、医療安全への知識を深めよう
第 2 回	令和 2 年 11 月 16 日 ～ 30 日 追研修：12 月 9 日 ～ 18 日	医療安全（医療用酸素ガス管理・MRI 医療事故について） 医療ガスについて（中央配管酸素・酸素ボンベの取り扱い）

院内巡視

開催日	場所	内容
令和 2 年 4 月 16 日	1 病棟	与薬・注射ミキシングの手順 患者誤認 環境
令和 2 年 5 月 21 日	2 病棟	与薬・注射ミキシングの手順 患者誤認 環境
令和 2 年 6 月 18 日	3 病棟	与薬の手順 患者誤認 作業環境の整理・整頓
令和 2 年 7 月 16 日	4 病棟	与薬の手順 患者誤認 作業環境の整理・整頓
令和 2 年 8 月 20 日	5 病棟	与薬の手順 患者誤認 作業環境の整理・整頓
令和 2 年 9 月 17 日	外来・歯科	作業環境の整理・整備 患者誤認
令和 2 年 10 月 15 日	臨床検査室	作業環境の整備 マニュアルの整備 患者誤認
令和 2 年 11 月 19 日	診療放射線室	機器の安全確認 作業環境の整備 マニュアルの整備
令和 2 年 12 月 24 日	栄養室・厨房	安全感染に配慮した整理・整頓・清潔 患者誤認
令和 3 年 1 月 21 日	リハビリ室	患者の動線確保と安全性の配慮 心リハ急変対応
令和 3 年 2 月 18 日	薬剤室	効率的な作業環境と整理・整備
令和 3 年 3 月 18 日	事務室・SPD	整理・整頓 患者誤認防止

4. 活動要約

- ・インシデント・アクシデント事例の分析・再発防止の検討
- ・医療安全管理に関する全般事項の調査・報告・審議
- ・医療事故防止のための提言
- ・医薬品副作用の報告
- ・医療安全研修会（年 2 回開催）

第 1 回 医療安全・医薬品安全管理研修会 参加率：99.8%

テーマを「2019 年度インシデント・アクシデントデータ報告 医療安全問題を通し、医療安全への知識を深めよう」と題し研修を企画した。

今年、国内での COVID-19 感染拡大が発生し、本県でも罹患者が発生した事に伴い、空気感染、3 密の制限により施設内集団研修が困難となり、今回始めて全職員対象医療安全研修会を電子カルテでの学習研修会として開催する事となった。

第 2 回 医療安全研修会・第 1 回医療ガス研修会 参加率：93.4%

「患者の酸素管理・MRI での医療事故」「中央配管酸素・酸素ボンベの取り扱い」

具体的な患者への間違った酸素投与写真や、全国の MRI 医療事故を写真資料とし学習した。

- ・インシデント・アクシデントレポートの収集

インシデント・アクシデント事例を分析し、結果を現場へフィードバックする。

- ・院内ラウンド

定期的な院内ラウンドにより安全な作業環境、ルール・マニュアル遵守状況の把握をする。

- ・医療安全対策地域連携相互点検

医療安全対策の現状について連携する病院間で意見交換及び評価することで、医療安全対策の標準化・質向上を図る。

令和 2 年度は、コロナの影響でマッチング施設としての健生病院と板柳中央病院とで互いの施設間訪問が出来なかった事により、前年度の提言書や改善事項を基に評価資料を作成し、メールに載せ互いの問題事項や評価依頼しながら提言書評価まで行った。

令和 2 年度まとめ

インシデント・アクシデントを今年度と昨年度とを比較し、778 件から 699 件へと減少した。

しかしながら、今年度は、「確認不足・確認ミス」によるケースが 10 件から 13 件へと増加し、スタッフの確認に対する意識の低下や確認の不十分が生じたものとする。

インシデントの中で患者誤認が一番発生させてはいけないインシデントであり、患者誤認防止には照合確認と相手から名乗って頂き確認する事が必須である。次年度は患者誤認 0 件を達成できるよう策を講じていきたい。

今後も患者様の安全を守るため部署リスクマネージャーと連携しながらマニュアル・ルールを遵守するよう周知させ、5 S 活動・KYT を推進しスタッフの教育・指導に努めていく。

医療器材管理委員会

1. 活動目的

本委員会は、弘前脳卒中・リハビリテーションセンターにおける診療材料及び診療に必要な医療機器（以下「医療材料等」という。）の安全採用、死蔵化の防止、その他使用の効率化及び医療材料等の試用に関する事項を審議し、病院運営の健全化を図ることを目的とする。

2. 構成員 ※令和3年3月末現在

委員長	医 局	内沢 隆充	（副院長・医療器材管理室長・医療機器安全管理者）
メンバー	医 局	萩井 譲士	（副院長・医療安全推進室長）
		清野 聡	（副院長・感染対策室長）
	看護部	金崎 真紀子	（医療器材管理副室長・看護師長）
		工藤 正弘	（医療安全推進室副室長・看護師長）
		中田 智子	（感染対策室副室長・看護師長）
	事務部	今 基	（企画運営課長）
		菊池 真	（企画運営課主任）

3. 委員会開催記録

回	開催日	内 容
1	令和2年4月23日	前回承認された医療機器について報告 4月分の医療機器・消耗品申請について報告 COVID-19により個人防護具の使用制限、納品状況を報告 COVID-19の影響により医療消耗品納期遅延について報告 医師会からのマスク供給について報告
2	令和2年5月28日	前回承認された医療機器について報告 5月分の医療機器・消耗品申請について報告 医療消耗品不具合品について報告 COVID-19の影響による個人防護具（マスク等）の状況報告
3	令和2年6月25日	前回承認された医療機器について報告 6月分の医療機器・消耗品申請について報告 医療材料・機器等新規購入の改定内容について報告 COVID-19対策用に非接触型体温計の購入を報告 COVID-19の影響による個人防護具（マスク等）の状況報告
4	令和2年7月30日	前回承認された医療機器について報告 7月分の医療機器・消耗品申請について報告 COVID-19の影響によるマスクの状況を報告
5	令和2年8月27日	前回承認された医療機器について報告 8月分の医療機器・消耗品申請について報告 COVID-19の影響によるマスクの状況を報告 COVID-19の影響によりグローブの高騰、供給不安定を報告

6	令和2年9月24日	前回承認された医療機器について報告 9月分の医療機器・消耗品申請について報告 COVID-19の影響によるマスクの現状を報告 COVID-19の影響によるグローブの現状と対応について報告 医療消耗品仕様変更案内について報告
7	令和2年10月22日	前回承認された医療機器について報告 10月分の医療機器・消耗品申請について報告 COVID-19の影響によるマスクの現状を報告 医療消耗品製品終了の案内について報告 定期点検機器について報告 医療機器レンタルについて報告
8	令和2年11月26日	前回承認された医療機器について報告 11月分の医療機器・消耗品申請について報告 COVID-19の影響によるマスクの現状を報告 医療消耗品の不具合品について報告
9	令和2年12月24日	前回承認された医療機器について報告 12月分の医療機器・消耗品申請について報告 定期点検機器報告書について説明 医療消耗品不具合について報告 感染対策拡大防止等支援事業に係る補助金について報告 厚労省より人工呼吸器等消耗品の無償配布の案内について報告 医療機器修理サポート終了品について報告 医療用ゴム手袋の供給不足、価格高騰について報告
10	令和3年1月28日	前回承認された医療機器について報告 1月分の医療機器・消耗品申請について報告 COVID-19の影響によりパルスオキシメーターの不足について報告 飛沫感染防止対策用消耗品の確保について報告
11	令和3年3月4日	前回承認された医療機器について報告 2月分の医療機器・消耗品申請について報告 医療消耗機器に不具合について報告 医療消耗品不良品について報告 来年度医療器材管理委員会開催日について報告
12	令和3年3月25日	コロナ補助金対象品完納について報告 3月分の医療機器・消耗品申請について報告 ニトリルグローブ高騰により現状と対応について報告

4. 活動要約

- ・委員会概要（要綱）の改定を行い、進め方、フローチャート、各申請様式等の再度周知を徹底。
- ・医療器材等新規購入の採否に関して審議。
- ・既採用医療材料等の削除に関して調査・報告・審議。

- ・医療器材等の試用に関して報告・審議。
- ・医療器材等の適正な使用及び安全管理に関して調査・報告・審議。
- ・医療器材等の更新に関して調査・報告・審議。
- ・COVID-19 の影響により感染対策用機器の確保と、適正な設置及び使用に関して報告。
- ・COVID-19 の影響による物資供給不安定のため、感染対策用消耗品の確保と適正な使用及び安全管理に関して調査・報告・審議。

感染対策委員会

1. 活動目的

本委員会は、一般財団法人黎明郷 弘前脳卒中・リハビリテーションセンターにおける医療関連感染防止のために、耐性菌検出状況・抗菌薬の使用状況を把握し院内感染対策の業務が適正に遂行されているかを審議することを目的とする。

2. 構成員 ※令和3年3月末現在

委員長	鎌田 孝篤	(病院長)		
メンバー	清野 聡	(副院長・感染対策室長)	萩井 譲士	(副院長)
	樋口 三枝子	(看護部長)	工藤 正弘	(医療安全推進室副室長)
	算用子 暁美	(リハビリテーション部技師長)	阿保 文子	(臨床検査技師長)
	鳥谷部 翔	(薬剤師長)	倉内 寿孝	(主任薬剤師)
	花田 和大	(薬剤師)	古川 栄	(臨床検査技師)
	工藤 雅令	(事務部長)	野沢 正人	(事務部次長)
	中田 智子	(感染対策室副室長) ※	山口 美樹	(主任看護師代行)
	飯田 哲子	(看護師)		

※院内感染管理者

3. 委員会開催記録

回	開催日	内 容
1	令和2年4月15日	感染情報レポートの検討 抗菌薬・消毒薬使用状況の報告・検討 感染対策室より院内感染状況などの報告 ICTラウンド状況の報告 新型コロナウイルス感染症について
2	令和2年5月20日	感染情報レポートの検討 抗菌薬・消毒薬使用状況の報告・検討 感染対策室より院内感染状況などの報告 ICTラウンド状況の報告 新型コロナウイルス感染症について
3	令和2年6月17日	感染情報レポートの検討 抗菌薬・消毒薬使用状況の報告・検討 感染対策室より院内感染状況などの報告 ICTラウンド状況の報告 新型コロナウイルス感染症について

4	令和2年7月15日	感染情報レポートの検討 抗菌薬・消毒薬使用状況の報告・検討 感染対策室より院内感染状況などの報告 I C Tラウンド状況の報告 新型コロナウイルス感染症について
5	令和2年8月19日	感染情報レポートの検討 抗菌薬・消毒薬使用状況の報告・検討 感染対策室より院内感染状況などの報告 I C Tよりラウンド状況の報告 新型コロナウイルス感染症について
6	令和2年9月16日	感染情報レポートの検討 抗菌薬・消毒薬使用状況の報告・検討 感染対策室より院内感染状況などの報告 I C Tよりラウンド状況の報告 新型コロナウイルス感染症について インフルエンザワクチン接種について
7	令和2年10月21日	感染情報レポートの検討 抗菌薬・消毒薬使用状況の報告・検討 感染対策室より院内感染状況などの報告 I C Tよりラウンド状況の報告 新型コロナウイルス感染症について インフルエンザワクチン接種について
8	令和2年11月5日 (臨時)	新型コロナウイルス感染症対策について 1. 当院の現況報告 2. 診察の流れ 3. 病原体検査 4. 入院対応 5. 職員の健康管理
9	令和2年11月18日	感染情報レポートの検討 抗菌薬・消毒薬使用状況の報告・検討 感染対策室より院内感染状況などの報告 I C Tよりラウンド状況の報告 新型コロナウイルス感染症について インフルエンザワクチン接種について
10	令和2年12月16日	感染情報レポートの検討 抗菌薬・消毒薬使用状況の報告・検討 感染対策室より院内感染状況などの報告 I C Tよりラウンド状況の報告 新型コロナウイルス感染症について

11	令和3年1月20日	感染情報レポートの検討 抗菌薬・消毒薬使用状況の報告・検討 感染対策室より院内感染状況などの報告 ICTよりラウンド状況の報告 新型コロナウイルス感染症について
12	令和3年2月17日	感染情報レポートの検討 抗菌薬・消毒薬使用状況の報告・検討 感染対策室より院内感染状況などの報告 ICTよりラウンド状況の報告 新型コロナウイルス感染症について
13	令和2年3月17日	感染情報レポートの検討 抗菌薬・消毒薬使用状況の報告・検討 感染対策室より院内感染状況などの報告 ICTよりラウンド状況の報告 新型コロナウイルス感染症について

院内感染防止対策研修会

回	開催日	内 容
1	令和2年7月16日～7月31日	感染経路別予防策はできていますか？
2	令和2年10月19日～11月8日	新型コロナウイルス感染症 予防と感染拡大の防止方法

4. 活動要約

- ・感染情報レポートの評価・検討

院内感染報告患者と報告細菌数を可視化。

細菌報告後は早期に介入を行い結果も含め報告し、注意点などをフィードバックしている。

委員会で検討・注意喚起を行う事で感染防止に繋がっている。

- ・薬剤室より、抗菌薬・消毒剤使用状況報告

抗菌薬使用状況などから、病棟毎の特殊性を把握し感染症に関する治療や抗菌薬使用を可視化する事で、感染状況や治療に繋げる事が出来ている。

今後は、抗菌薬使用状況から適正使用であるかなども介入する指標作成を行う。

- ・ICTよりラウンド状況報告

院内環境巡視を通し、院内の感染対策実施状況の把握が出来ている。

病院全体で改善が必要な部分について問題提起し改善が図られた。次年度も継続。

- ・新興感染症に関する感染対策

新型コロナウイルス（COVID-19）感染症のパンデミックに伴い、渡航に関する対応など財団としての対応策について検討・協議し院内へ提示した。医療提供場面において適切な対応ができるように指導していく。

- ・院内感染防止対策研修会（年2回）

流行を踏まえて必要な研修を実施。参加者の参加型実践研修を行う事で現場に活用できている。

今後も現場の声を踏まえた研修を行っていく。

栄養管理委員会

1. 活動目的

病院給食が合理的に運営されるために栄養管理委員会を開催し、患者の適正な栄養管理を行い、医療の質の向上を計ることを目的とする。

2. 構成員 ※令和3年3月末現在

委員長	佐々木 都子（内科部長・リハビリテーション部長）		
委 員	世永 壮	（薬剤師）	熊澤 ゆかり（主任臨床検査技師）
	奈良 早織	（看護師）	今井 真子（看護師）
	高阪 理恵	（看護師）	小野 真矢子（看護師）
	佐藤 眞紀子	（看護師）	成田 睦（看護師）
	成田 理紗	（言語聴覚士）	角田 七海（医事担当）
	鳴海 悦子	（管理栄養士長）	船水 亜巳（管理栄養士）
	須藤 のどか	（管理栄養士）	小笠原 理紗（管理栄養士）
	三橋 義宗	（管理栄養士・日清医療食品）	

3. 委員会開催記録

回	開催日	内 容
1	令和2年4月1日	栄養教室日程 栄養指導件数報告 NST報告 アンケート調査結果報告 新年度の栄養管理委員会・NST委員構成について
2	令和元年5月7日	栄養教室日程 栄養指導件数報告 NST報告 アンケート調査結果報告 春の食事会について コロナウイルスによる食品への影響について
3	令和元年6月3日	栄養教室日程 栄養指導件数報告 NST報告 アンケート調査結果報告 春の食事会総評

4	令和元年 7 月 1 日	栄養教室日程 栄養指導件数報告 N S T 報告 アンケート調査結果報告 行事食について 食中毒の注意喚起
5	令和 2 年 8 月 5 日	栄養教室日程 栄養指導件数報告 N S T 報告 アンケート調査結果報告 行事食について（お盆） 食器の取り扱いについて
6	令和 2 年 9 月 2 日	栄養教室日程 栄養指導件数報告 N S T 報告 アンケート調査結果報告 秋の食事会について 備蓄粥の提供について
7	令和 2 年 10 月 7 日	栄養教室日程 栄養指導件数報告 N S T 報告 アンケート調査結果報告 秋の食事会総評
8	令和 2 年 11 月 4 日	栄養教室日程 栄養指導件数報告 N S T 報告 アンケート調査結果報告 青森県 N S T 研究会案内 行事食について（クリスマス） 感染症の注意喚起（手洗い、うがい）
9	令和 2 年 12 月 2 日	栄養教室日程 栄養指導件数報告 N S T 報告 アンケート調査結果報告 クリスマス食事会総評 行事食について（冬至、大晦日、元旦）

10	令和3年1月6日	栄養教室日程 栄養指導件数報告 NST報告 アンケート調査結果報告 クリスマス食事会総評 行事食について（節分）
11	令和3年2月3日	栄養教室日程 栄養指導件数報告 NST報告 アンケート調査結果報告 行事食（バレンタイン・ひな祭り） 栄養管理計画書運用の再確認
12	令和3年3月3日	栄養教室日程 栄養指導件数報告 NST報告 アンケート調査結果報告 栄養管理計画書運用について確認 次年度の食事会・栄養教室日程 次年度の栄養管理委員会・NSTの委員構成について

【主な行事】

開催日	内 容
令和2年6月3日	春の食事会
令和2年10月7日	秋の食事会
令和2年12月23日	クリスマス食事会

4. 活動要約

- ・食事会や行事食は例年通り実施。
- ・集団栄養指導、個人栄養指導件数は前年比と同様。

褥瘡対策委員会

1. 活動目的

本委員会は、一般財団法人黎明郷 弘前脳卒中・リハビリテーションセンターにおける院内褥瘡対策を討議・検討し、その効率的な推進を図ることを目的とする。

2. 構成員 ※令和3年3月末現在

委員長	岩田 学	(医局長・副院長代行)	
副委員長	桑村 美佳	(主任看護師)	
メンバー	樋口 三枝子	(看護部長)	白川 笑美子 (看護師)
	石田 瑞穂	(薬剤師)	藤田 絵梨果 (看護師)
	大川 みこと	(管理栄養士)	工藤 茜 (看護師)
	工藤 育子	(リハ主任・理学療法士)	小田桐 敦 (看護師)
	渡部 清寛	(リハ主任・作業療法士)	梶浦 枝里奈 (看護師)
	菊池 真	(企画運営課主任)	川村 紘子 (看護師)
	今 基	(企画運営課長)	齋藤 和恵 (看護師)

3. 委員会開催記録

回	開催日	内 容
1	令和2年4月8日	4月褥瘡患者について報告 エアマット、体位交換枕について報告 3月分のリスク因子の評価について報告 体位交換クッションリース契約検討について報告 褥瘡に関する勉強会実施予定について報告
2	令和2年5月13日	5月褥瘡患者について報告 エアマット、体位交換枕について報告 4月分のリスク因子の評価について報告 体位交換クッションリース契約について報告 褥瘡に関する勉強会実施日程を検討 規定変更（構成員の修正）について報告 人事異動について報告
3	令和2年6月3日	6月褥瘡患者について報告 エアマット、体位交換枕について報告 5月分のリスク因子の評価について報告 勉強会について報告（看護部にて検討）
4	令和2年7月8日	7月褥瘡患者について報告 エアマット、体位交換枕について報告 6月分のリスク因子の評価について報告 eラーニングについて報告

5	令和2年8月5日	8月褥瘡患者について報告 エアマット、体位交換枕について報告 7月分のリスク因子の評価について報告 勉強会の実施について報告
6	令和2年9月9日	9月褥瘡患者について報告 エアマット、体位交換枕について報告 8月分のリスク因子の評価について報告 委員会メンバー変更について報告
7	令和2年10月14日	10月褥瘡患者について報告 エアマット、体位交換枕について報告 9月分のリスク因子の評価について報告
8	令和2年11月11日	11月褥瘡患者について報告 エアマット、体位交換枕について報告 10月分のリスク因子の評価について報告
9	令和2年12月9日	12月褥瘡患者について報告 エアマット、体位交換枕について報告 11月分のリスク因子の評価について報告 委員会メンバー変更について報告
10	令和3年1月13日	1月褥瘡患者について報告 エアマット、体位交換枕について報告 12月分のリスク因子の評価について報告 委員会メンバー変更について報告
11	令和3年2月10日	2月褥瘡患者について報告 エアマット、体位交換枕について報告 1月分のリスク因子の評価について報告 来年度の褥瘡委員会開催日について報告 委員会メンバー変更について報告
12	令和3年3月10日	3月褥瘡患者について報告 2月分のリスク因子の評価について報告 体位交換枕総在庫について報告 エアマット総在庫数について報告 令和2年度褥瘡委員活動の総括について報告

4. 活動要約

- ・ 定例委員会において、各病棟での褥瘡発生状況と治療経過について確認検討した。
- ・ 定例委員会において、体位交換枕等の使用状況について確認した。
 - 1) リハスタッフ、栄養士、薬剤師がその専門性を生かし、予防や栄養補助食品、薬剤に関する情報を積極的に提供していく。
 - 2) 褥瘡に関する学会や研修会への参加を促進する。
 - 3) 定例委員会で勉強会を開催する。
 - 4) 褥瘡に関する病棟スタッフ間での質問や話し合いが活発になるように、褥瘡対策委員が積極的に啓蒙活動を行う。

臨床検査適正化委員会

1. 活動目的

本委員会は、当院において臨床検査を適正かつ円滑に遂行するための検討を行うことを目的とする。

2. 構成員 ※令和3年3月末現在

委員長	萩井 譲士	(副院長)		
メンバー	鎌田 孝篤	(病院長)	清野 聡	(副院長)
	阿保 文子	(臨床検査技師長)	倉内 寿孝	(主任薬剤師)
	中田 智子	(感染対策室副室長)	工藤 正弘	(医療安全推進室副室長)
	齋藤 理恵	(医事課長)	鳴海 佳織	(医事課係長・医事補助担当)

3. 委員会開催記録

回	開催日	内 容
1	令和2年4月15日	精度管理実施報告 検査機器の部品交換等報告 免疫測定器定期点検実施
2	令和2年5月20日	精度管理結果報告 基準値検討 検査システム定期点検実施
3	令和2年6月17日	精度管理結果報告 血液ガス分析装置ソフトウェア更新 生化学自動分析装置部品交換実施 新しい血液凝固検査機器搬入について
4	令和2年7月15日	血液凝固検査機器運用開始 生化学自動分析装置定期点検実施 多項目自動血球分析装置部品交換実施
5	令和2年8月19日	生化学自動分析装置部品交換実施 精度管理結果報告 細菌検査依頼先の変更について 輸血前後感染症検査について検討
6	令和2年9月16日	精度管理実施報告 偽性血小板減少症についてのクエン酸採血管について 細菌検査依頼先決定
7	令和2年10月21日	精度管理実施 生化学自動分析装置部品交換実施 血液型判定機器定期点検実施
8	令和2年11月18日	精度管理実施報告 精度管理結果報告 輸血時の不規則性抗体スクリーニング検査開始

9	令和2年12月16日	精度管理実施報告 精度管理結果報告 生化学自動分析装置更新検討 検査機器のバージョンアップについて
10	令和3年1月20日	生化学自動分析装置定期点検及び部品交換実施 生化学自動分析装置 新機種決定 多項目自動血球分析装置定期点検実施
11	令和3年2月17日	精度管理結果報告 生化学自動分析装置部品交換実施
12	令和3年3月17日	精度管理実施報告 精度管理結果報告 検査機器の部品交換実施 生化学自動分析装置新機種設置について

3. 活動要約

- ・ 検査データの精度の向上に努める。
- ・ 最新の検査項目の提供。
- ・ 検査機器の保守、新機種の検討。
- ・ 研究活動。
- ・ 治験への参加協力。

薬事審議委員会

1. 活動目的

本委員会は、一般財団法人黎明郷 弘前脳卒中・リハビリテーションセンターにおける医薬品の採用及び削除に関して審議し、医薬品適正使用を目的に活動するものである。

2. 構成員 ※令和3年3月末現在

委員長 馬場 佳子（内科部長・薬剤室長）
委員 内沢 隆充（副院長）
清野 聡（副院長・医薬品安全管理室長・感染対策室長）
目時 典文（内科部長）
藤田 尚子（医薬品情報室副室長）
鳥谷部 翔（薬剤師長）【事務局】
工藤 雅令（事務部長）
齋藤 理恵（医事課長）
今 基（企画運営課長）

3. 委員会開催記録

回	開催日	内 容
1	令和2年4月13日	令和2年度規定、委員変更の確認 採用申請状況、限定購入品目、デッドストック使用動向確認 後発医薬品採用割合報告 レパーサ AD、モーター停止の調査依頼 ニコランジル錠「日医工」自主回収について
2	令和2年5月11日	採用申請状況、限定購入品目、デッドストック使用動向確認 後発医薬品採用割合報告、 メトグルコ錠 250mg/500mg 自主回収について
3	令和2年6月8日	患者限定採用⇒本採用への検討、後発医薬品採用検討 採用申請状況、限定購入品目、デッドストック使用動向確認 後発医薬品採用割合 グルコン酸 K 細粒の出荷制限解除について アデホスコーフ顆粒及び類似薬の出荷停止と出荷調整について ミラクリッド注射液販売中止について

4	令和2年7月13日	患者限定採用⇒本採用への検討、採用申請状況、限定購入品目、デッドストック使用動向確認、後発医薬品採用割合報告 シグマート錠、ユナシン注の流通不良について 医薬品の流通不良について、レパーサAD不具合の調査報告 価格妥結状況について
5	令和2年8月17日 (紙上会議)	後発医薬品採用割合報告
6	令和2年9月14日	採用申請状況、限定購入品目、デッドストック使用動向確認 後発医薬品採用割合報告、抗菌薬の安定供給検討 シグマート錠、ユナシン注の流通不良について ヘプタボックス(B型肝炎ワクチン)供給再開 価格妥結状況について
7	令和2年10月12日	後発医薬品採用検討、採用申請状況、限定購入品目、デッドストック使用動向確認、後発医薬品採用割合報告 シグマート錠、ユナシン注の流通不良について 肺炎球菌ワクチン「ニューモボックス」出荷調整について スローケー錠販売中止後の後発品出荷調整について 共和クリティケア製造品ソフトバック製剤の自主回収について 価格妥結状況について
8	令和2年11月9日	採用申請状況、限定購入品目、デッドストック使用動向確認 後発医薬品採用割合報告 シグマート錠、ユナシン注の流通不良について ベオーバ錠の出荷調整について 価格妥結状況について
9	令和2年12月14日	患者限定採用⇒本採用への検討、後発医薬品採用検討 採用申請状況、限定購入品目、デッドストック使用動向確認 後発医薬品採用割合報告 シグマート錠、ユナシン注の流通不良について ベオーバ錠の流通不良について ラジカット、カタクロットについて ドブトレックスについて 塩酸ドパミン600について リネゾリドについて 肺炎球菌ワクチン「ニューモボックス」について プロクトセディル軟膏・座薬、ヘモレックス軟膏の出荷調整について
10	令和2年12月22日 (臨時)	小林化工製造のイトラコナゾール錠 50 mg「MEEK」に睡眠剤の混入 報告による外来処方への取扱いについて

11	令和3年1月18日	患者限定採用⇒本採用への検討、採用申請状況、限定購入品目、デッドストック使用動向確認、後発医薬品採用割合報告 シグマート錠、ユナシン注の流通不良について ベオーバ錠の流通不良について ラジカット、カタクロットについて ドブトレックスについて 塩酸ドパミン600について リネゾリドについて 肺炎球菌ワクチン「ニューモバックス」について プロクトセディル軟膏・座薬、ヘモレックス軟膏の出荷調整について ラクノスNFゼリーについて 小林化工関連の内服薬及びスキーム発動薬について
12	令和3年2月8日	患者限定採用⇒本採用への検討、後発医薬品採用検討 採用申請状況、限定購入品目、デッドストック使用動向確認 後発医薬品採用割合報告 小林化工スキーム対象薬について シグマート錠、ユナシン注の流通不良について ベオーバ錠の流通不良について ラジカット、カタクロットについて ドブトレックスについて 肺炎球菌ワクチン「ニューモバックス」について プロクトセディル軟膏・座薬、ヘモレックス軟膏の出荷調整について ラクノスNFゼリーについて
13	令和3年3月8日	採用申請状況、限定購入品目、デッドストック使用動向確認 後発医薬品採用割合報告 小林化工スキーム対象薬について シグマート錠、ユナシン注の流通不良について ベオーバ錠の流通不良について ラジカット、カタクロットについて ドブトレックスについて 肺炎球菌ワクチン「ニューモバックス」について プロクトセディル軟膏・座薬、ヘモレックス軟膏の出荷調整について ラクノスNFゼリーについて

4. 活動要約

- ・ 事務局である薬剤室薬剤師が各製造販売会社ホームページ、MR訪問、添付文書やインタビューフォームなどから情報を入手、資料を作成し薬事審議委員会にて審議する。
- ・ 県内医療機関の採用状況及び流通を定期的に聴取し評価する。

- ・ 採用中の先発医薬品の中で①適応に違いがない、②形状や大きさが先発と似ている、③後発医薬品のみの特徴がある、など変更可能と考えられる医薬品を積極的に後発品に切り替える。新規採用の場合でも可能であれば後発医薬品とする。
- ・ 新規採用薬、採用変更及び中止薬を院内に回覧し周知する。
- ・ デッドストック情報を毎月共有し不良在庫にならないようにする。
- ・ 後発医薬品採用割合を、毎月チェックする。
- ・ 問題発生があれば速やかに薬事審議委員会に報告し採用継続の適否を検討する。

診療記録管理委員会

1. 活動目的

診療記録等の診療情報資料を適正かつ効率的に管理し、診療情報管理業務の円滑な運営を図ることを目的とする。

2. 構成員 ※令和3年3月末現在

委員長	鎌田 孝篤	(病院長)
委員	鳥谷部 翔	(薬剤師長)
	金崎 真紀子	(看護師長)
	小野 公久	(リハ主任・作業療法士)
	小比類巻 顕子	(リハ主任・理学療法士)
	川村 隆行	(診療放射線技師長)
	阿保 文子	(臨床検査技師長)
	鳴海 悦子	(管理栄養士長)
	今 基	(企画運営課長)
	齋藤 理恵	(医事課長)
	鳴海 佳織	(医事課係長医師補助担当)
	葛西 志保	(医師課主任医師補助担当)
	奈良 麻里	(医師課主任医師補助担当)
	小田桐 珠美	(医師係医師補助係)
	佐々木 哲裕	(医事課係長医事担当)【診療記録管理者】

3. 委員会開催記録

回	開催日	内 容
1	令和2年4月3日	退院時サマリ作成状況報告 カルテ開示報告 リハビリテーション実施計画書の作成について（改定対応） 家屋環境調査用紙のスキヤナ取り込み開始について
2	令和2年5月1日	退院時サマリ作成状況報告 カルテ開示報告 リハビリテーション実施計画書の作成について（改定対応） 新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う電話再診の運用 機密文書廃棄における分別について
3	令和2年6月5日	退院時サマリ作成状況報告 カルテ開示報告 入院診療計画書等のテンプレート切り替えについて
4	令和2年7月3日	退院時サマリ作成状況報告 カルテ開示報告 他院からの画像フィルムの廃棄について

5	令和2年8月7日	退院時サマリ作成状況報告 カルテ開示報告 せん妄ハイリスク患者ケア加算算定に伴うテンプレート設置
6	令和2年9月4日	退院時サマリ作成状況報告 カルテ開示報告 栄養評価に係るテンプレート設置 他院からの画像フィルムの廃棄について
7	令和2年10月2日	退院時サマリ作成状況報告 カルテ開示報告 外来用リハビリテーション総合実施計画書様式修正について 入院用リハビリテーション総合実施計画書の運動量増加機器使用時の内容修正について
9	令和2年12月4日	退院時サマリ作成状況報告 カルテ開示報告 外来用リハビリテーション総合実施計画書様式修正について 新型コロナウイルス感染症検査時の説明及び同意書について 保険会社からの開示依頼について
10	令和3年1月8日	退院時サマリ作成状況報告 カルテ開示報告 リハビリテーション総合実施計画書テンプレート一部修正について 死亡診断書における押印廃止について 診療記録等の廃棄について
11	令和3年2月5日	退院時サマリ作成状況報告 カルテ開示報告 カルテ開示料金の改訂について 保険証の記号・番号等の告知要求制限について
12	令和3年3月5日	退院時サマリ作成状況報告 カルテ開示報告 病棟スタッフ変更に伴う入院診療計画書の修正について おむつ使用証明書の様式変更について カルテ開示料金の改訂について

4. 活動要約

- ・不備があると考えられる診療記録について、提案し改善に努めた。

電子保存システム管理委員会

1. 活動目的

弘前脳卒中リハビリテーションセンターに電子保存システム管理委員会を設け、診療録および電子保存システムの適正な管理、運用を行うことを目的とする。

2. 構成員 ※令和3年3月末現在

委員長	内沢 隆充（副院長）	
メンバー	佐藤 奈奈（看護師長代行）	三浦 康彦（理学療法室副室長）
	齋藤 信一（作業療法室副室長）	鳥谷部 翔（薬剤師長）
	鳴海 悦子（管理栄養士長）	阿保 文子（臨床検査技師長）
	川村 隆行（診療放射線技師長）	立林 修（庶務課長）運用責任者
	齋藤 堅太	今田 信之
オブザーバー	（医事係医療情報係担当）システム管理者	（医事課主任代行医療情報係担当）システム管理者
	シグマソリューションズ	

3. 委員会開催記録

回	開催日	内 容
1	令和2年4月8日	2020年度 診療報酬改定プログラムの適用について
2	令和2年5月13日	院内 LAN(ノート PC)の入替について
3	令和2年6月3日	診療科(整形外科)の追加について 院内 LAN サーバの定期再起動について
4	令和2年7月1日	2020年度 診療報酬改定プログラム(看護必要度)の適用について
5	令和2年8月5日	ホスティングサーバ(ウェブホームページ、メールアドレス管理)の移行準備について
6	令和2年9月2日	ホスティングサーバの移行について
7	令和2年10月7日	来年度の電子カルテ更新について
8	令和2年11月4日	画像参照用端末(超音波2)の故障について
9	令和2年12月2日	画像サーバの保存画像容量について
10	令和3年1月6日	電子カルテ 放射線オーダー 一部項目の設定変更について
11	令和3年2月3日	院内無線アンテナ(ノートカルテ・PDA 用)の接続障害について
12	令和3年3月3日	電子カルテ 患者プロフィールの不具合について

4. 活動要約

電子カルテを始め各システム等の問題点の改善、運用案についての検討。

DPCコーディング委員会

1. 活動目的

本委員会は、標準的な診断及び治療方法の周知を徹底し、適切なコーディング（適切な診断を含めた診断群分類の決定をいう。）を行う体制を確保することを目的とする。

2. 構成員 ※令和3年3月末現在

委員長	鎌田 孝篤	（病院長）
メンバー 医局	萩井 譲士	（副院長）
	清野 聡	（副院長）
中央診療部	鳥谷部 翔	（薬剤師長）
看護部	樋口 三枝子	（看護部長）
	小田桐 千代	（看護師長）
	山田 まり子	（看護師長）
事務部	齋藤 理恵	（医事課長）
	佐々木 哲裕	（医事課係長医事担当）診療記録管理者

3. 委員会開催記録

回	開催日	内 容
1	令和2年5月25日	データ提出加算算定件数報告 令和2年度診療報酬改定における変更点について
2	令和2年8月24日	データ提出加算算定件数報告 提出済みデータからのコーディング誤りについて
3	令和2年11月30日	データ提出加算算定件数報告 提出済みデータからのコーディング誤りについて
4	令和3年2月22日	データ提出加算算定件数報告 提出済みデータからのコーディング誤りについて

4. 活動要約

サマリをはじめとした診療記録及びデータ提出における入力内容の確認。

倫理委員会

1. 活動目的

本委員会は、弘前脳卒中・リハビリテーションセンターにおける医学・医療の倫理的問題について協議するとともに、病院長又は医療部長の諮問を受けて、当院に所属する者が当院において行う医療行為、医学研究及び教育等が医の倫理に関するヘルシンキ宣言等の趣旨に沿って倫理的配慮の下に行われるか審査する。

2. 構成員 ※令和3年3月末現在

委員長 内沢 隆充 (副院長)
 メンバー 清野 聡 (副院長)
 岩田 学 (医局長・副院長代行)
 樋口 三枝子 (看護部長)
【病院外部の学識経験者】
 弘前大学大学院保健学研究科看護学領域
 教授 長内 智宏
 青森県立保健大学健康科学部理学療法学科
 准教授 勘林 秀行
 社会保険労務士 石塚 紀子
【事務局】
 立林 修 (庶務課長)
 田中 結菜 (庶務課主任)

3. 活動記録

A 審議あり (変更申請を除く新規申請のみ表示)

承認日	研究名	申請者
令和2年4月10日	血小板凝集能と脳卒中の関係性と抗血小板薬使用による再発率の変化※変更申請	弘前大学大学院保健学研究科 教授 長内 智宏
令和2年4月10日	脳卒中患者の血小板凝集能と麻痺の程度との関連性※変更申請	弘前大学大学院保健学研究科 教授 長内 智宏
令和2年4月10日	脳卒中研究者新ネットワークを活用した脳・心血管疾患における抗血栓療法の実態と安全性の解明 (BAT2) ※変更申請	副院長 萩井 譲士
令和2年5月13日	"排便日誌を使用し排便ケアに必要な看護支援を見出す ～排便障害のある患者2事例について～	看護師 西澤 麻梨奈 桑村 美佳 成田 幸英
令和2年7月10日	急性期における脳卒中患者の病気や障害に対する認識の調査	看護師 対馬 舞希 福士 涼香 五十嵐 沙弥香

令和 2 年 7 月 31 日	脳卒中患者におけるせん妄発症の実態調査	看護師 伊藤 敏子 西岡 美奈 福士 育子
令和 2 年 9 月 15 日	脳卒中患者に対し排便日誌を用いた排便コントロールへの取り組み ～排便習慣と患者の意識変容に焦点を置いて～	看護師 西澤 麻梨奈 阿部 真央
令和 2 年 9 月 23 日	脳卒中により片麻痺となった患者の回復期における自己の障害に対する認識	看護師 山内 史子 村上 直美 下山 小百合
令和 2 年 9 月 25 日	壮年期経度軽度脳梗塞患者の再発予防行動の維持に影響する要因	看護師 石岡 史穂 工藤 江理香
令和 2 年 12 月 10 日	脳卒中研究者新ネットワークを活用した脳・心血管疾患における抗血栓療法の実態と安全性の解明（BAT2）※変更申請	副院長 萩井 譲士
令和 3 年 1 月 29 日	脳卒中の急性期診療提供体制の変革に係る実態把握及び有効性等の検証のための研究	内科副部長 齋藤 新
令和 3 年 3 月 8 日	HISCL®NT-proBNP 試薬の心原性脳塞栓症におけるカットオフ値等についての研究	副院長 萩井 譲士

B 審議を必要としないもの（委員長決裁）

承認日	研究名	申請者
令和 2 年 4 月 22 日	慢性硬膜下血腫内包後脚にみられる CT 微小低吸収の研究	副院長 内沢 隆充
令和 2 年 4 月 24 日	心原性脳塞栓症の鑑別および脳梗塞予後予測における BNP・D-dimer の有用性	内科副部長 白戸 弘志
令和 2 年 5 月 27 日	回復期病棟における在宅療養移行支援の実情	5 病棟看護師 工藤 汐里
令和 2 年 9 月 4 日	回復期における高次脳機能障害患者への在宅療養移行支援の実情と看護師の困難感	5 病棟看護師 工藤 汐里
令和 3 年 3 月 17 日	潜在性脳梗塞、塞栓源不明脳塞栓症に対する観察研究	内科副部長 齋藤 新

4. 活動要約

- ・倫理審査は、紙上にて実施し、各委員が審査の上、必要に応じて申請者へ質問、指摘を行った。
また、不備な点については、修正、追加の上再申請を求めた上で再審査した。
- ・令和元年度 新規研究申請件数
審議あり：12 件、審議なし（委員長決裁）：5 件
※申請された研究はすべて承認

衛生委員会

1. 活動目的

衛生委員会の構成、運営、調査審議事項などを定め、衛生管理活動の円滑な推進を図ることを目的とする。

2. 構成員 ※令和3年3月末現在

委員長	鎌田 孝篤	(病院長)
	高橋 広希	(内科部長)産業医
	清野 聡	(副院長)衛生管理者
	工藤 雅令	(事務部長)
	樋口 三枝子	(看護部長)
	川村 隆行	(診療放射線技師長)
	算用子 暁美	(リハビリテーション部技師長・作業療法士)
	山本 賢雅	(理学療法室長)
	中田 智子	(感染対策室副室長)
	嵯峨 望	(庶務課主任)
	立林 修	(庶務課長)事務局

3. 委員会開催記録

回	開催日	内 容
1	令和2年4月22日	感染症罹患状況、労災事故（昨年度件数まとめ）について 新型コロナウイルス関連就労制限者等について 春の健康診断実施について メンタルヘルスケア（こころの相談利用等）について 産業医の巡回（医学研究室、物品管理室、ごみ収集庫、不潔リネン庫）他について 前月の時間外労働（長時間労働者）の状況について
2	令和2年5月27日	感染症罹患状況、労災事故について 新型コロナウイルス関連就労制限者等について 春の健康診断、昨年度有所見者再受診率について メンタルヘルスケア（こころの相談利用等）について 産業医の巡回（臨床検査室、生理検査室、放射線室）他について 前月の時間外労働（長時間労働者）の状況について 厨房、中材の熱中症対策について
3	令和2年6月24日	感染症罹患状況、労災事故について メンタルヘルスケア（こころの相談利用等）について 春の健康診断の実施状況について 産業医の巡回（医局、薬剤室、D I 室）他について 前月の時間外労働（長時間労働者）の状況について

4	令和2年7月29日	感染症罹患状況、労災事故について 新型コロナウイルス関連就労制限者等について メンタルヘルスケア（こころの相談利用、研修会）について 産業医の巡回について（栄養室、厨房、事務室、医療相談室） 前月の時間外労働（長時間労働者）の状況について 熱中症計モニタリング報告について
5	令和2年8月26日	感染症罹患状況、労災事故について メンタルヘルスケア（こころの相談利用、研修会）について 産業医の巡回（施設管理課、ボイラー室・機械室、屋上）について 前月の時間外労働（長時間労働者）の状況について 浴室等の熱中症対策、モニタリングについて
6	令和2年9月30日	感染症罹患状況、労災事故について メンタルヘルスケア（こころの相談利用、研修会）について 秋の健康診断、ストレスチェック（実施方法、規程改訂）について 産業医の巡回（5病棟、感染対策室）について 前月の時間外労働（長時間労働者）の状況について
7	令和2年10月28日	感染症罹患状況、労災事故について メンタルヘルスケア（こころの相談利用）、研修会開催について 秋の職員健診、ストレスチェック実施について 産業医の巡回（1病棟）について 前月の時間外労働（長時間労働者）の状況について
8	令和2年11月25日	感染症罹患状況、労災事故について メンタルヘルスケア（こころの相談利用等）について 秋の職員健診、ストレスチェック実施状況について 産業医の巡回（4病棟）について 前月の時間外労働（長時間労働者）の状況について
9	令和2年12月23日	感染症罹患状況、労災事故について メンタルヘルスケア（こころの相談利用等）について 秋の職員健診、ストレスチェック実施結果について 産業医の巡回（3病棟）について 前月の時間外労働（長時間労働者）の状況について
10	令和3年1月27日	感染症罹患状況、労災事故について メンタルヘルスケア（こころの相談利用等）について ストレスチェック実施結果について 産業医の巡回（2病棟、中材）について 前月の時間外労働（長時間労働者）の状況について
11	令和3年2月24日	感染症罹患状況、労災事故について メンタルヘルスケア（こころの相談利用等）について 産業医の巡回（居宅・訪問リハ・地域連携室、1階リハ室、歯科） 前月の時間外労働（長時間労働者）の状況について 職員健診（春・秋）の結果報告について

12	令和3年3月24日	感染症罹患状況、労災事故について メンタルヘルスケア（こころの相談利用）について 産業医の巡回（外来・内視鏡室）について 前月の時間外労働（長時間労働者）の状況について
----	-----------	---

4. 活動要約

- ・事業者側と雇用者側からの委員構成で職場環境の点検と対策について検討した。
- ・感染症罹患状況、新型コロナウイルス関連の就労制限について把握。感染対策の徹底により、今年度のインフルエンザ罹患者はゼロ（昨年度20名）だった。
- ・前年度に引き続き、冬の路面凍結による転倒事故防止対策として、職員通用口付近に融雪および電気マットを敷き、注意喚起の回覧、掲示を実施した。暴風雪に見舞われた日の出勤時に2名骨折者あり、再度の注意喚起と除雪業者への指示を行った。
- ・高室温となる箇所については、昨年から継続して熱中症計によるモニタリングを行った。厨房はクーラー設置により室温の問題は解消した。中材については引き続き環境改善の方策について検討する。
- ・労災事故件数 骨折2件、打撲捻挫1件、針刺し2件、患者行為による受傷7件、その他2件 計14件と例年になく件数が多かった。
- ・産業医の巡回による職場環境の点検および指摘事項の検討をした。
- ・健康診断で所見のあった職員へのフォローアップをした。
春の受診者数 210名、指示人数 33名（19%）
秋の受診者数 457名、指示人数 37名（9%）
- ・時間外労働（長時間労働者）については、月80時間超の該当者はなく、産業医による医師面談の実施なし。
- ・メンタルヘルスケアについて年1回の研修会の実施
新型コロナウイルスの感染対策のため、資料による学習研修とした。
厚労省こころの耳 e-learning（PDF）を活用→受講完了374名
- ・ストレスチェックの実施の結果：受検率99%、受験者に占める高ストレス判定者の割合16%

部署代表者委員会

1. 活動目的

本委員会は、当財団が少しでも働きやすい環境となるよう、就業規則等の作成・変更にあたっての意見や要望を職員から聴取・集約した上で、財団との交渉や、財団が必要とする意見交換に応じ、法令で定められた書面による財団との協定の締結・変更及び解約を行うことを目的とする。

2. 構成員 ※令和3年3月末現在

委員長	診療部代表	川村 隆行	(診療放射線技師長)
メンバー	医局代表	白戸 弘志	(内科副部長)
	看護部代表	工藤 晃	(主任看護師)
		吉田 美奈	(主任看護師)
	リハビリテーション部代表	山田 奈津子	(リハ主任・理学療法士)
		齋藤 曜子	(リハ主任代行・作業療法士)
	事務部代表	飯塚 聖貴	(施設管理課係長代行)

3. 委員会開催記録

回	日付	内 容
1	令和2年4月2日(木)	継続雇用の一部改正
2	令和2年6月12日(金)	委員長が職員代表者として適任であるか各部署に確認するための書面を回覧した
3	令和2年7月6日(月)	6月12日付で回覧した書面を回収・確認した結果、過半数以上の職員から賛同を得られたことを各部署へ文書にて報告した
4	令和2年12月9日(水)	・職員から意見箱に寄せられた意見・要望に関して、委員会で検討した ・「特別休暇」について 検討した内容をもとに書面を作成し財団に対して申出する
5	令和3年2月12日(金)	・「特別休暇」について 内容を確認し、財団に対して申出した ・「年次有給休暇」について 検討した内容をもとに書面を作成し財団に対して申出する
6	令和3年3月12日(金)	・「特別休暇」と「年次有給休暇」について 2月12日付で財団に対して申出した意見・要望についての回答を財団より受けた⇒財団了承、委員会から異議なし

4. 活動要約

今年度は新型コロナウイルスが世界的に流行し、それに伴う就業規則等に関する意見を検討し、「特別休暇」に係る内容や、「年次有給休暇」について財団との交渉を行い、一部改正した。また、院内に設置している意見箱に職員からの意見や要望等が寄せられ、委員会で検討し、業務改善に繋げることができたのではないかと感じている。これからもより多くの職員に意見箱を活用して頂きたい。

委員会としては引き続き、労働環境の整備を微力ながらも計画・実行していきたいと考えている。

教育研修委員会

1. 活動目的

本委員会は、一般財団法人黎明郷 弘前脳卒中・リハビリテーションセンターにおける職員の学習を奨励し、①職業人として自己を研鑽する姿勢を身につける、②医療人として患者のために奉仕する心を学ぶ、③プロフェッショナルとして個々の知識、スキルを高めるための支援、及び環境調整をするものである。

2. 構成員 ※令和3年3月末現在

委員長	馬場 佳子	(内科部長)		
副委員長	工藤 留美子	(副看護部長)		
メンバー	鳥谷部 翔	(薬剤師長)	阿保 文子	(臨床検査技師長)
	川村 隆行	(診療放射線技師長)	鳴海 悦子	(管理栄養士長)
	大川 麻美	(看護師長代行)	千葉 順子	(看護師長)
	中村 学人	(理学療法士)	久森 名緒子	(リハ主任・作業療法士)
	池上 友紀子	(リハ主任・言語聴覚士)	宇佐美 夏希	(医療相談員)
	齋藤 佑夏子	(医療相談員)		
	奈良 麻里	(医事課主任医師補助担当)	飯塚 聖貴	(施設管理課係長代行)

3. 委員会開催記録

回	開催日	内 容
1	平成2年4月24日	看護部・リハ部の教育研修計画について
2	令和2年5月22日	メディカルスタッフ勉強会、施設間勉強会の中止について
3	令和2年6月26日	紙上開催（研修旅費の執行状況報告）
4	令和2年7月31日	紙上開催（研修旅費の執行状況報告）
5	令和2年8月28日	紙上開催（研修旅費の執行状況報告）
6	令和2年9月25日	紙上開催（研修旅費の執行状況報告）
7	令和2年10月23日	紙上開催（研修旅費の執行状況報告）
8	令和2年11月27日	紙上開催（研修旅費の執行状況報告）
9	令和2年12月25日	来年度の学会研修旅費予算案について 来年度の戦略的人材育成費決定の報告
10	令和3年1月22日	紙上開催（研修旅費の執行状況報告）
11	令和3年2月26日	紙上開催（研修旅費の執行状況報告）
12	令和3年3月26日	紙上開催（研修旅費の執行状況報告）

4. 活動要約

- ・出張旅費と学術助成の計画と執行状況の確認をした。
- ・戦略的人材育成費の内容と学会研修旅費の予算を検討し、決定した。
- ・メディカルスタッフ勉強会・施設間勉強会は新型コロナウイルスの状況により中止となった。
- ・新型コロナウイルスの影響により、主だった活動が出来なかった。

施設運用委員会

1. 活動目的

弘前脳卒中・リハビリテーションセンター(以下「センター」という。)における施設運用についての意見及び要望について検討し、その適正化を図ることを目的とする。

2. 構成員 ※令和3年3月末現在

委員長 清野 聡 (副院長)
 メンバー 樋口 三枝子 (看護部長)
 算用子 暁美 (リハビリテーション部技師長)
 川村 隆行 (診療放射線技師長)
 工藤 雅令 (事務部長)
 野沢 正人 (事務部次長)
 工藤 博人 (施設管理課長)

3. 委員会開催記録

回	開催日	内 容
1	令和 2 年 4 月 1 日	点検表の配布について 2F 看護当直室の空調不具合 他
2	令和 2 年 5 月 13 日	部屋の点検表について審議検討した 空調不具合、倉庫の不足 他
3	令和 2 年 6 月 3 日	部屋の点検表について審議検討した 4F リハ用具収納、駐車場アスファルト補修 他
4	令和 2 年 7 月 1 日	部屋の点検表について審議検討した 厨房内、中央材料室の環境改善 他
5	令和 2 年 8 月 5 日	部屋の点検表について審議検討した 3T_MRI 更衣室手すり設置、検査室エアコン設置 他
6	令和 2 年 9 月 2 日	【紙上会議】部屋の点検表について審議検討した 電子かけ運用変更(血管撮影室、看護当直室) 他
7	令和 2 年 10 月 7 日	今年度 2 回目の点検表配布について 脳血管内治療後のシャワー室利用 他
8	令和 2 年 11 月 4 日	部屋の点検表について審議検討した コロナウイルス感染対策(1F 受付前)、中央材料室の環境改善 他
9	令和 2 年 12 月 2 日	部屋の点検表について審議検討した 2 病棟の壁紙補修 他
10	令和 3 年 1 月 4 日	【紙上会議】部屋の点検表について審議検討した 栄養事務室のスペース拡張、インフォメーションの環境改善 他
11	令和 3 年 2 月 3 日	部屋の点検表について審議検討した 2 病棟天井配管結露、自動ドア連動エアカーテンボックス設置 他
12	令和 3 年 3 月 3 日	部屋の点検表について審議検討した 身体障害者用駐車スペースの消雪対応変更 他

4. 活動要約

- ・ 1 病棟の倉庫不足（シンク撤去）
- ・ 駐車場アスファルト補修
- ・ 厨房内の環境改善（エアコン設置）
- ・ 中央材料室の環境改善の検討（滅菌業務の外部委託、経管栄養のディスポーザブル化）
- ・ 3 テスラMR I 室（更衣室）手すり設置
- ・ 検査室環境改善（エアコン設置）
- ・ コロナウイルス感染対策（第 5 診察室前、1F 受付前）
- ・ 2 病棟の壁紙補修
- ・ 栄養事務室のスペース拡張（什器購入、レイアウト変更）
- ・ 2 病棟天井配管結露対策
- ・ インフォメーションの環境改善（電気ヒーター、自動ドア連動エアーカーテンボックス設置）

広報委員会

1. 活動目的

弘前脳卒中・リハビリテーションセンター(以下「センター」という。)の医療情報の広報を的確に推進するため、センターに広報委員会(以下「委員会」という。)を置く。

2. 構成員 ※令和3年3月末現在

委員長 目時 典文 (内科部長)
 メンバー 樋口 三枝子 (看護部長)
 算用子 暁美 (リハビリテーション部技師長)
 鳥谷部 翔 (薬剤師長)
 立林 修 (庶務課長)

3. 委員会開催記録

回	開催日	内 容
1	令和2年4月20日	ホームページについて ・ 部署紹介、リクルート情報の更新等
2	令和2年5月18日	年報作成について(昨年度版の作成着手) ホームページについて ・ 部署紹介の更新、作業方針について
3	令和2年6月15日	ホームページについて ・ 部署紹介の進捗報告 ・ 問合せフォームからのメールについて
4	令和2年7月20日	ホームページについて ・ 部署紹介の進捗報告
5	令和2年8月24日	ホームページについて ・ 入院案内の室料更新、部署紹介の進捗報告 ・ 2020年度青森県高次脳機能障害者リハ講習会中止のお知らせを掲載
6	令和2年11月16日	ホームページについて ・ リクルート情報、コロナウイルス関連のお知らせを更新 ・ 「入院のご案内」ページの更新(面会制限中について) ・ 病院内リモート面会の運用について検討
7	令和3年1月25日	ホームページについて ・ 臨床実習受け入れ再開のお知らせ掲載 ・ 2/1よりリモート面会開始予定。申し込み方法など後日掲載

※令和3年2～3月は開催なし

4. 活動要約

- ・ ホームページの充実、年報の作成を軸に審議検討した。
- ・ 年報第7号(令和元年度)が完成し、ホームページ上で公開した。

患者サービス委員会

1. 活動目的

本委員会は、各部門が連携協調を図り、業務の円滑な処理および効率性を確保することにより、病院を利用する患者および患者の家族等（以下患者等）へのサービス向上に資することを目的とする。

（内容）①患者等への対応サービスの向上に関する事。②患者等の院内活動にかかるサービス向上に関する事。③患者等からの苦情・意見の収集および対応に関する事。④ボランティアの受け入れおよび活動内容に関する事。⑤その他の医療サービスに関する事。

2. 構成員

委員長	萩井 譲士（副院長）	
副委員長	佐藤 奈奈（看護師長代行）	福山 美佳（リハ主任・言語聴覚士）
委員	工藤 正弘（医療安全推進室副室長）	関 晃治郎（診療放射線技師）
	鳴海 悦子（管理栄養士長）	橋本 祐樹（主任看護師代行）
	小野 るり子（主任看護師）	齋藤 輝之（主任看護師）
	鈴木 麻里（看護師）	佐藤 愛（主任看護師代行）
	阿保 智加（看護師）	村上 朋子（主任看護師）
	古川 優希（理学療法士）	住吉 佳奈子（リハ主任・作業療法士）
	長尾 さくら（医療相談員）	葛西 志保（医事課主任医師補助担当）
	澤田 栞奈（財務経理課主任代行）	

3. 委員会開催記録

回	開催日	内容
1	令和2年4月16日	3月分退院時患者アンケート調査結果の報告 令和2年度規約・委員・活動予定の確認 病棟患者用トイレのゴミ箱入替について
2	令和2年5月21日	4月分退院時患者アンケート調査結果の報告 アンケート集計・回答の運用方法変更の提案について
3	令和2年6月18日	5月分退院時患者アンケート調査結果の報告 アンケート集計・回答の運用方法変更の提案について 活動報告（七夕）
4	令和2年7月16日	6月分退院時患者アンケート調査結果の報告 傘立て/傘袋装着機等の設置希望について 2階アトリウムの清掃実施
5	令和2年8月20日	7月分退院時患者アンケート調査結果の報告 傘袋装着機の購入について
6	令和2年9月17日	8月分退院時患者アンケート調査結果の報告 傘袋装着機の購入について 面会制限下でのオンライン面会の提案について

7	令和2年10月15日	9月分退院時患者アンケート調査結果の報告 傘袋装着機の購入について 面会制限下でのオンライン面会の提案について
8	令和2年11月19日	10月分退院時患者アンケート調査結果の報告
9	令和2年12月17日	11月分退院時患者アンケート調査結果の報告 2月の床屋来院日について
10	令和2年1月21日	12月分退院時患者アンケート調査結果の報告
11	令和2年2月18日	1月分退院時患者アンケート調査結果の報告 令和3年度役員の選出について
12	令和2年3月18日	2月分退院時患者アンケート調査結果の報告 令和2年度評価、令和3年度役員の決定について

4. 活動要約

【主な行事】

開催日	内容
令和2年1月1日 ※実施なし	接遇研修 5～6月に3日間、eラーニングビデオ研修で開催を予定していたがコロナウイルス感染予防の観点から中止になった。
令和2年6～7月	七夕飾りの設置・片づけ
令和2年7月16日 (委員会時)	2階アトリウムの清掃実施 予定していた清掃活動(ゴミ拾い)がコロナウイルス流行の影響で実施が難しい為、これにかわり2階アトリウムの整理・清掃を委員会内で行った。患者がリハビリで作成した作品の入替作業、飾り台の拭き掃除等を行った。
令和2年11～12月	クリスマスツリー飾りの設置・片づけ

その他

- ・正面玄関用傘袋装着機の購入・設置（令和2年11月）

【退院時患者アンケート（患者等からのご意見）】 ※別添参照

アンケート回答回収率 年間：20.2%

ご意見・ご不満の内容

- ・食事について（味付け、メニュー、量 等）
- ・医師・看護師他スタッフについて（接遇、言葉遣い、説明不足、対応の遅さ 等）
- ・環境・設備について（室温、照明、トイレ環境、wi-fi の設置 等）
- ・その他：ナースコールについて、面会時間・面会方法について、リハビリ・入浴時間について

【総括】

- ・計画した行事は概ね実施できた。
- ・コロナウイルス流行による面会制限下で、退院時患者アンケートの回収率が低かった。回答に協力いただけるよう声掛けを積極的に行った。
- ・ご意見・ご不満に関して、真摯に受け止め、原因・状況を確認し再発防止に努め、サービス向上につなげた。
- ・環境・設備等に関して、施設管理部門と連携し解決を図り、安心安全な環境づくりに努めた。

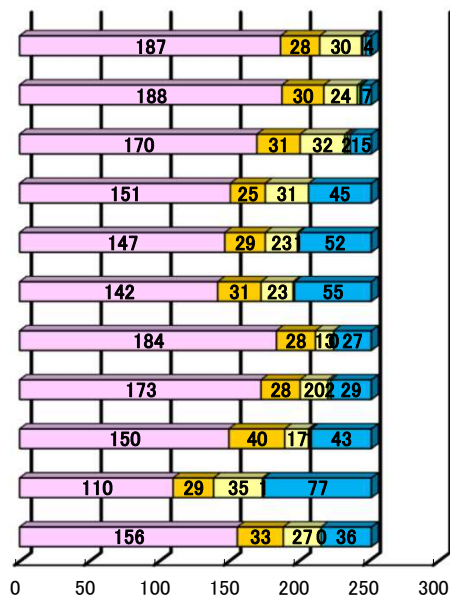
退院時患者様へのアンケート 調査結果 令和2年度 令和2年4月1日～令和3年3月31日

(年間集計)

(・回答者数: 252名 ・退院患者数: 1250名 ・回収率: 20.2%)

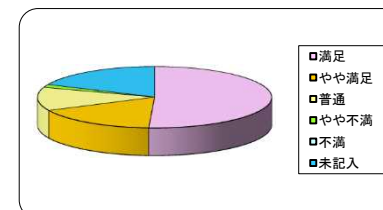
Q1. スタッフの対応サービスはどうか？

	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	未記入	計
医師	187	28	30	1	2	4	252
	74.2%	11.1%	11.9%	0.4%	0.8%	1.6%	100.0%
看護師	188	30	24	2	1	7	252
	74.6%	11.9%	9.5%	0.8%	0.4%	2.8%	100.0%
受付 スタッフ	170	31	32	2	2	15	252
	67.5%	12.3%	12.7%	0.8%	0.8%	6.0%	100.0%
薬剤師	151	25	31	0	0	45	252
	59.9%	9.9%	12.3%	0.0%	0.0%	17.9%	100.0%
放射線 技師	147	29	23	1	0	52	252
	58.3%	11.5%	9.1%	0.4%	0.0%	20.6%	100.0%
検査技師	142	31	23	1	0	55	252
	56.3%	12.3%	9.1%	1.8%	0.0%	21.8%	101.4%
リハ スタッフ	184	28	13	0	0	27	252
	73.0%	11.1%	5.2%	0.0%	0.0%	10.7%	100.0%
医療相談員	173	28	20	2	0	29	252
	68.7%	11.1%	7.9%	0.8%	0.0%	11.5%	100.0%
栄養士	150	40	17	1	1	43	252
	59.5%	15.9%	6.7%	0.4%	0.4%	17.1%	100.0%
売店 スタッフ	110	29	35	1	0	77	252
	43.7%	11.5%	13.9%	0.4%	0.0%	30.6%	100.0%
清掃 スタッフ	156	33	27	0	0	36	252
	61.9%	13.1%	10.7%	0.0%	0.0%	14.3%	100.0%

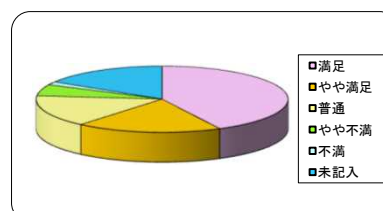


Q3. 食事の満足度について(治療食)

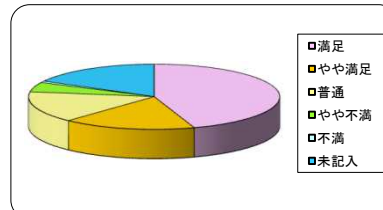
温度	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	未記入	計
1 満足	128	50.8%					
2 やや満足	43	17.1%					
3 普通	31	12.3%					
4 やや不満	4	1.6%					
5 不満	0	0.0%					
6 未記入	46	18.3%					
計	252	100%					



味付け	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	未記入	計
1 満足	107	42.5%					
2 やや満足	47	18.7%					
3 普通	39	15.5%					
4 やや不満	14	5.6%					
5 不満	4	1.6%					
6 未記入	41	16.3%					
計	252	100%					

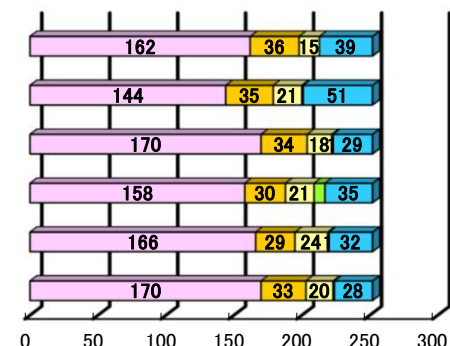


量	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	未記入	計
1 満足	113	44.8%					
2 やや満足	43	17.1%					
3 普通	39	15.5%					
4 やや不満	12	4.8%					
5 不満	2	0.8%					
6 未記入	43	17.1%					
計	252	100%					



Q2. 当院の設備について

	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	未記入	計
リハビリ施設	162	36	15	0	0	39	252
	64.3%	14.3%	6.0%	0.0%	0.0%	15.5%	100.0%
入浴設備	144	35	21	1	0	51	252
	57.1%	13.9%	8.3%	0.4%	0.0%	20.2%	100.0%
トイレの清潔	170	34	18	1	0	29	252
	67.5%	13.5%	7.1%	0.4%	0.0%	11.5%	100.0%
冷暖房設備	158	30	21	8	0	35	252
	62.7%	11.9%	8.3%	3.2%	0.0%	13.9%	100.0%
室内環境 (広さ、照明)	166	29	24	1	0	32	252
	65.9%	11.5%	9.5%	0.4%	0.0%	12.7%	100.0%
院内の清潔	170	33	20	1	0	28	252
	67.5%	13.1%	7.9%	0.4%	0.0%	11.1%	100.0%



レクリエーション委員会

1. 活動目的

本会は、一般財団法人黎明郷 職員間の交流を通じ、労働力の確保・定着・勤労意欲・能率の向上などの効果をもたらすことを目的とし、以下の活動をする。

- ・財団新入職員歓迎会に関する事。（開催日：原則 4 月第 3 金曜日）
- ・財団忘年会に関する事。（開催日：原則 12 月第 2 金曜日）
- ・ボウリング大会に関する事。
- ・その他、レクリエーション活動に関する事。

2. 構成員 ※令和 3 年 3 月末現在

委員長	医 局	清野 聡	（副院長）
メンバー	薬剤室	清藤 一輝	（薬剤師）
	診療放射線室	川村 隆行	（診療放射線技師長）
	外 来	工藤 江里香	（看護師）
	1 病棟	佐々木 有沙	（看護師）
	2 病棟	橋本 美幸	（看護師）
	3 病棟	古川 優希	（理学療法士）
	4 病棟	西澤 清貴	（作業療法士）
	5 病棟	西澤 諒	（理学療法士）
	事務部	桑田 武人	（庶務課係長）
	事務部	前田 一成	（財務経理係）

3. 委員会開催記録

回	開催日	内 容
1	令和 2 年 4 月 13 日	新入職員歓迎会（延期）
2	令和 2 年 5 月 11 日	新入職員歓迎会（準備）
3	令和 2 年 6 月 8 日	新入職員歓迎会（準備）
4	令和 2 年 7 月 13 日	新入職員歓迎会（中止）、ボウリング大会（準備） R 元年度委員会年報（報告）
5	令和 2 年 8 月 17 日	ボウリング大会（準備）
6	令和 2 年 9 月 14 日	ボウリング大会（中止）、忘年会（準備）
7	令和 2 年 10 月 12 日	忘年会（準備）
8	令和 2 年 11 月 9 日	忘年会（中止）
9	令和 3 年 2 月 8 日	新入職員歓迎観桜会（準備）、来年度の委員体制
10	令和 3 年 3 月 8 日	新入職員歓迎観桜会（準備）、来年度の委員体制

4. 活動要約

今年度は新型コロナウイルスの影響による職員の安全を考慮した結果、歓迎会を始めとしたレクリエーション委員会が企画・運営する活動が中止となった。そのため、職員への還元が十分ではないとの意見が挙げられた。来年度も困難な状況が続くようであれば、例年とは異なる対応をレクリエーション委員会の活動として検討する必要がある。

ICT(Infection Control Team)

1. 活動目的

本チームは、一般財団法人黎明郷 弘前脳卒中・リハビリテーションセンターにおける感染管理を担当する専門職によるグループで、院内ラウンドなどの活動を通して院内感染防止を目的として活動するものである。

2. 構成員 ※令和3年3月末現在

リーダー	清野 聡 (副院長・感染対策室長)	サブリーダー	萩井 譲士 (副院長・医療安全室長)
メンバー	中田 智子 (感染対策室副室長)	山口 美樹 (主任看護師代行)	佐藤 和奏 (看護師)
	阿保 文子 (臨床検査技師長)	古川 栄 (臨床検査技師)	倉内 寿孝 (主任薬剤師)
	花田 和大 (薬剤師)		
リンクスタッフ	三上 小夜香 (主任看護師)	工藤 夏美 (主任看護師)	橋本 祐樹 (主任看護師代行)
	工藤 晃 (主任看護師)	小野 るり子 (主任看護師)	伊藤 敏子 (主任看護師代行)
	齋藤 輝之 (主任看護師)	山内 史子 (主任看護師代行)	佐藤 志乃 (主任看護師)
	桑村 美佳 (主任看護師)	佐藤 愛 (主任看護師代行)	吉田 美奈 (主任看護師)
	立原 秀実 (主任看護師)	佐藤 純子 (主任看護師代行)	
	赤石 富士子 (看護師)	川村 隆行 (診療放射線室技師長)	山田 奈津子 (リハ主任・理学療法士)
	今井 寛人 (リハ主任・作業療法士)	鳴海 悦子 (管理栄養室士長)	工藤 博人 (施設管理課長)
	鳴海 佳織 (医師課係長医師補助担当)		

3. ICT会議開催記録

回	開催日	内 容
1	令和2年4月7日	検出菌状況報告・検討 特定抗菌薬使用状況の報告・検討 院内巡視結果報告・評価 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について
2	令和2年4月14日	検出菌状況報告・検討 特定抗菌薬使用状況の報告・検討 院内巡視結果報告・評価 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について
3	令和2年4月21日	検出菌状況報告・検討 特定抗菌薬使用状況の報告・検討 院内巡視結果報告・評価 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について
4	令和2年4月28日	検出菌状況報告・検討 特定抗菌薬使用状況の報告・検討 院内巡視結果報告・評価 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について

5	令和 2 年 5 月 12 日	検出菌状況報告・検討 特定抗菌薬使用状況の報告・検討 院内巡視結果報告・評価 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について
6	令和 2 年 5 月 19 日	検出菌状況報告・検討 特定抗菌薬使用状況の報告・検討 院内巡視結果報告・評価 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について
7	令和 2 年 5 月 26 日	検出菌状況報告・検討 特定抗菌薬使用状況の報告・検討 院内巡視結果報告・評価 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について
8	令和 2 年 6 月 2 日	検出菌状況報告・検討 特定抗菌薬使用状況の報告・検討 院内巡視結果報告・評価 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について
9	令和 2 年 6 月 9 日	検出菌状況報告・検討 特定抗菌薬使用状況の報告・検討 院内巡視結果報告・評価 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について
10	令和 2 年 6 月 16 日	検出菌状況報告・検討 特定抗菌薬使用状況の報告・検討 院内巡視結果報告・評価 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について
11	令和 2 年 6 月 23 日	検出菌状況報告・検討 特定抗菌薬使用状況の報告・検討 院内巡視結果報告・評価 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について
12	令和 2 年 6 月 30 日	検出菌状況報告・検討 特定抗菌薬使用状況の報告・検討 院内巡視結果報告・評価 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について
13	令和 2 年 7 月 7 日	検出菌状況報告・検討 特定抗菌薬使用状況の報告・検討 院内巡視結果報告・評価 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について
14	令和 2 年 7 月 14 日	検出菌状況報告・検討 特定抗菌薬使用状況の報告・検討 院内巡視結果報告・評価 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について CD トキシン関連

15	令和 2 年 7 月 21 日	検出菌状況報告・検討 特定抗菌薬使用状況の報告・検討 院内巡視結果報告・評価 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について 結核接触者検診について
16	令和 2 年 7 月 28 日	検出菌状況報告・検討 特定抗菌薬使用状況の報告・検討 院内巡視結果報告・評価 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について 結核接触者検診について
17	令和 2 年 8 月 3 日	検出菌状況報告・検討 特定抗菌薬使用状況の報告・検討 院内巡視結果報告・評価 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について 結核接触者検診について
18	令和 2 年 8 月 11 日	検出菌状況報告・検討 特定抗菌薬使用状況の報告・検討 院内巡視結果報告・評価 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について HB ワクチン、インフルエンザワクチン接種について
19	令和 2 年 8 月 18 日	検出菌状況報告・検討 特定抗菌薬使用状況の報告・検討 院内巡視結果報告・評価 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について
20	令和 2 年 8 月 25 日	検出菌状況報告・検討 特定抗菌薬使用状況の報告・検討 院内巡視結果報告・評価 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について
21	令和 2 年 9 月 1 日	検出菌状況報告・検討 特定抗菌薬使用状況の報告・検討 院内巡視結果報告・評価 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について 結核接触者検診について
22	令和 2 年 9 月 8 日	検出菌状況報告・検討 特定抗菌薬使用状況の報告・検討 院内巡視結果報告・評価 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について

23	令和 2 年 9 月 15 日	検出菌状況報告・検討 特定抗菌薬使用状況の報告・検討 院内巡視結果報告・評価 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について 小児抗体価ワクチンについて
24	令和 2 年 9 月 29 日	検出菌状況報告・検討 特定抗菌薬使用状況の報告・検討 院内巡視結果報告・評価 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について インフルエンザワクチン接種について 津軽感染制御フォーラムについて
25	令和 2 年 10 月 6 日	検出菌状況報告・検討 特定抗菌薬使用状況の報告・検討 院内巡視結果報告・評価 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について インフルエンザワクチン接種について 院内研修について
26	令和 2 年 10 月 13 日	検出菌状況報告・検討 特定抗菌薬使用状況の報告・検討 院内巡視結果報告・評価 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について インフルエンザワクチン接種について 院内研修について
27	令和 2 年 10 月 15 日 (臨時)	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について
28	令和 2 年 10 月 20 日	検出菌状況報告・検討 特定抗菌薬使用状況の報告・検討 院内巡視結果報告・評価 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について
29	令和 2 年 10 月 27 日	検出菌状況報告・検討 特定抗菌薬使用状況の報告・検討 院内巡視結果報告・評価 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について
30	令和 2 年 11 月 2 日 (臨時)	新型コロナウイルス感染症対策について 1. 当院の現況報告 2. 診察の流れ 3. 病原体検査 4. 入院対応 5. 職員の健康管理

31	令和 2 年 11 月 10 日	検出菌状況報告・検討 特定抗菌薬使用状況の報告・検討 院内巡視結果報告・評価 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について HB ワクチン、インフルエンザワクチン接種について
32	令和 2 年 11 月 17 日	検出菌状況報告・検討 特定抗菌薬使用状況の報告・検討 院内巡視結果報告・評価 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について 結核接触者検診について
33	令和 2 年 11 月 24 日	検出菌状況報告・検討 特定抗菌薬使用状況の報告・検討 院内巡視結果報告・評価 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について
34	令和 2 年 12 月 1 日	検出菌状況報告・検討 特定抗菌薬使用状況の報告・検討 院内巡視結果報告・評価 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について
35	令和 2 年 12 月 8 日	検出菌状況報告・検討 特定抗菌薬使用状況の報告・検討 院内巡視結果報告・評価 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について
36	令和 2 年 12 月 15 日	検出菌状況報告・検討 特定抗菌薬使用状況の報告・検討 院内巡視結果報告・評価 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について
37	令和 2 年 12 月 22 日	検出菌状況報告・検討 特定抗菌薬使用状況の報告・検討 院内巡視結果報告・評価 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について
38	令和 3 年 1 月 5 日	検出菌状況報告・検討 特定抗菌薬使用状況の報告・検討 院内巡視結果報告・評価 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について
39	令和 3 年 1 月 12 日	検出菌状況報告・検討 特定抗菌薬使用状況の報告・検討 院内巡視結果報告・評価 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について

40	令和3年1月19日	検出菌状況報告・検討 特定抗菌薬使用状況の報告・検討 院内巡視結果報告・評価 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について
41	令和3年1月26日	検出菌状況報告・検討 特定抗菌薬使用状況の報告・検討 院内巡視結果報告・評価 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について
42	令和3年2月2日	検出菌状況報告・検討 特定抗菌薬使用状況の報告・検討 院内巡視結果報告・評価 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について
43	令和3年2月9日	検出菌状況報告・検討 特定抗菌薬使用状況の報告・検討 院内巡視結果報告・評価 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について 弘前大学医学部附属病院合同カンファレンスについて
44	令和3年2月16日	検出菌状況報告・検討 特定抗菌薬使用状況の報告・検討 院内巡視結果報告・評価 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について
45	令和3年3月2日	検出菌状況報告・検討 特定抗菌薬使用状況の報告・検討 院内巡視結果報告・評価 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について
46	令和3年3月9日	検出菌状況報告・検討 特定抗菌薬使用状況の報告・検討 院内巡視結果報告・評価 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について
47	令和3年3月11日 (臨時)	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について 濃厚接触者に該当した職員の対応について
48	令和3年3月16日	検出菌状況報告・検討 特定抗菌薬使用状況の報告・検討 院内巡視結果報告・評価 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について
49	令和3年3月23日	検出菌状況報告・検討 特定抗菌薬使用状況の報告・検討 院内巡視結果報告・評価 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について

50	令和3年3月30日	検出菌状況報告・検討 特定抗菌薬使用状況の報告・検討 院内巡視結果報告・評価 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について
----	-----------	--

4. 活動要約

- ・院内巡視（I C Tラウンド）を実施・評価し感染対策委員会にて提言
1年を通して、評価項目の改善点なども多く抽出された。
I C Tリンクスタッフによる現場指導目的、看護部のリンクスタッフが変更となった。
- ・アウトブレイクの早期察知と対応
CDI と疥癬のアウトブレイク早期発見により、早期終息ができた。
- ・手指衛生について
手指衛生の実施状況を確認し、継続した観察と感染対策指導を実施していく。
手指衛生の遵守に伴い、手指のケアを行える資材の提供なども検討していく。
- ・医療材料や資材の提供
 - ①安全機構付き医療器への変更
患者さまと職員両者にとって安全である医療器材への切り替えを実施。
CV ポート留置患者の増加に伴い、より安全で衛生的な医療提供が行えるように支援する。
 - ②個人防護具の変更
粘膜曝露事例の増加から、眼の保護目的の個人防護具（ゴーグル）を変更し提供開始。
衛生的に使いやすい資材への変更をおこなった。
- ・ワクチンプログラムの再構築
職員自身の感染対策を実施すると共に、患者様を感染から守る目的からインフルエンザワクチンやB型肝炎に関するワクチンプログラムの見直しを実施。業務改善も含め実施している。継続したプログラム実施に対して支援を行う。
- ・排泄自立支援
尿路感染症患者の増加や尿道留置カテーテル使用比の低下を目標とし、脳卒中リハビリテーション看護認定看護師と共に、排泄自立支援活動を開始した。医師やリハビリ部門職員もチームの一員として活動を継続し、カテーテル使用比の低下が見られた。尿路感染症に関する効果は継続して介入と観察を行っていく。
- ・感染対策簡易マニュアルの配布と院内統一表示開始
感染対策を適切に実施し、確認できる方法として簡易マニュアル作成と配布を実施。
職員（委託職員含む）が共通した対応が行える方法とし、感染表示を統一し開始した。

DST(Diabetic Support Team)

1. 活動目的

本チームは、一般財団法人黎明郷 弘前脳卒中・リハビリテーションセンターにおける糖尿病患者の合併症の発症・進行が抑制されるよう集学的な治療を行い、症状や生活の質が改善されるように指導や支援を行うことを目的とする。

2. 構成員 ※令和3年3月末現在

指導医	医局	佐々木 都子 (内科部長)
GM	薬剤室	鳥谷部 翔 (薬剤師長)
リーダー	看護部	佐藤 志乃 (主任看護師)
メンバー	薬剤室	石田 瑞穂 (薬剤師)
	看護部	三上 小夜香 (主任看護師)
		工藤 くみ (主任看護師)
		伊藤 純子 (主任看護師代行)
		今井 真子 (看護師)
		工藤 梓 (看護師)
		西谷 鮎子 (看護師)
		田川 早苗 (看護師)
		板垣 充子 (看護師)
		澁谷 佳那 (看護師)
		工藤 汐里 (看護師)
		小山内 瞳 (歯科衛生士)
	栄養室	鳴海 悦子 (管理栄養士長)
		船水 亜巳 (管理栄養士)
		大川 みこと (管理栄養士)
	医学研究室	外崎 春香 (医療ク拉克)
事務局	事務部	山口 桃佳 (医事係医事担当)

3. 委員会開催記録

回	開催日	内 容
1	令和2年5月11日	新型コロナウイルス感染症により集合研修が中止・延期になっていることについて メトグルコ錠・メトホルミン錠の自主回収について 糖尿病教室の活動について
2	令和2年6月8日	糖尿病教室の活動について 第63回 日本糖尿病学会年次集会について
3	令和2年7月13日	GLP-1 受容体作動薬適応外使用に関する日本糖尿病学会の見解
4	令和2年8月17日	糖尿病教室の活動について 第63回 日本糖尿病学会年次集会のWEB開催について

5	令和2年9月14日	糖尿病教室の活動について 第63回 日本糖尿病学会年次集会の参加について n
6	令和2年10月12日	糖尿病教室の活動について 第3回東北地区糖尿病療養指導・薬学研究会について
7	令和2年11月9日	糖尿病教室の活動について 第64回 日本糖尿病学会年次学術集会について
8	令和2年12月14日	SGLT2 阻害薬「フォシーガ錠」について 経口 GLP-1 受容体作動薬「リベルサス錠」について 第55回糖尿病学の進歩について
9	令和3年1月18日	インスリン製剤一覧配布 第55回糖尿病学の進歩について
10	令和3年2月8日	療養指導資材「これなら“きっと”」の紹介 弘前 GLP-1 受容体作動薬 UP-TO-DATE on the Web について
11	令和3年3月8日	低血糖時救急治療薬「バスクミー点鼻粉末剤」の紹介 第64回 日本糖尿病学会年次学術集会について

4. 活動要約

- ・業務効率の観点から、令和2年度より糖尿病教室を毎週木曜日14時30分からの開催へ変更を決議。
- ・糖尿病に関する啓蒙、糖尿病教室への参加を円滑にするため、対象患者へ案内カードを配布。
- ・院内スタッフ勉強会の実施。

脳ドックワーキンググループ

1. 活動目的

「脳ドック」を希望する対象者のニーズに応える。もって、根治の難しい神経疾患の発生を予防する。

2. 構成員 ※令和3年3月末現在

リーダー	内沢 隆充（副院長・脳神経外科部長）	
メンバー	萩井 譲士（副院長）	目時 典文（内科部長）
	千葉 順子（看護師長）	村上 朋子（主任看護師）
	川村 隆行（診療放射線技師長）	阿保 文子（臨床検査技師長）
	齋藤 理恵（医事課長）	佐々木 哲裕（医事課係長医事担当）
	今 基（企画運営課長）	

3. 令和3年度の実績(令和2年4月～令和3年3月)について

実施主体	実施件数
一般	9 件
公立学校共済組合	74 件
市町村職員共済組合	22 件
弘前市国保	13 件
西目屋村国保	3 件
平川市国保	20 件
総件数	141 件

未実施件数：22 件

（理由）

- ・体内金属有でのお断り（11 件）
- ・閉所恐怖症（1 件）
- ・自己都合でのキャンセル（8 人）
- ・受診への変更（1 件）
- ・検査中の体調不良（1 件）

4. 活動要約

- ・脳卒中の早期発見と予防に貢献すべく、2020 年度も引き続き事業を継続
以下、委託契約更新した
- ・公立学校共済組合「脳検診」の委託契約を更新（定員 80 名程度）
- ・青森県市町村職員共済組合との「脳検診」について委託契約を更新
- ・「弘前市国保脳ドック」の委託契約を更新
- ・「西目屋村国保脳ドック」について委託契約を更新
- ・「平川市国保脳ドック」の委託契約締結

5. 脳ドックアンケートについて

回収率 43.3%

アンケート内容及び結果 別添参照

【アンケートへのご意見（抜粋）】

- ・ 予約時の対応から当日の検査まで、とても丁寧でわかりやすい対応・応対でした。また、結果の送付も早く、説明もわかりやすいものでした。また機会があればお世話になります。ありがとうございました。
- ・ 初めての来院でとても緊張しましたが皆さんとても親切に接して下さいました。安心して検査受けられました。
- ・ 医師の診察の前に待っている場所で看護師による問診（受診のきっかけ、手術歴、家族の病歴等）があるのですが、プライバシーの保護から別部屋で行うか、用紙へ記入させる等の方がいいのかなと思いました。
- ・ 検査に入る前に、他の病院では何かあった時のためのブザーを渡してくれたりすると聞いたが、今回はその様なものは何もなく、もし検査途中で何かあったり体調が悪くなったらどうしたら良いのかの説明もなかった。叫べば聞こえるのかも分からないまま中に入れられてしまって、正直かなり不安でした。怖かった（別に閉所恐怖症ではありません）。
- ・ 受付後、検査の前迄に昼食をとれるとは思いませんでしたので、事前にお知らせがあれば用意できたかなと思います。
- ・ 大変お世話になりました。コロナ禍の中、感染症予防・対策とありがとうございます。そんなお忙しい中お願いするのも恐縮ですが、結果の用紙の苗字に字誤りがありました。訂正頂けたらと思います。
- ・ 検査結果がファイリングされているのが嬉しかったです。丁寧さを感じました。
- ・ 結果報告書についてはわかりやすいですが、悪い結果についての治療法が何パターンかあれば書いてほしい。

【総括】

- ・ コロナウイルス流行禍であったが、脳ドック受診数は前年実績並みであった。
アンケート回答に協力いただけるよう声掛けを積極的に行ったが、回収率が低かった。
- ・ ご意見に対して、真摯に受け止め、原因・状況を確認して今後のサービス向上につなげていく。
- ・ 日本脳ドック学会認定施設として、安心して検診出来る体制を構築していく。

脳ドック検診者様へのアンケート

この度は当院の脳ドックをご利用いただき、誠にありがとうございます。

さて、当院ではサービスの改善・向上に向けての取り組みを実施しております。つきましては、今後の脳ドック事業の参考にいたしたく、検診者の皆様のご意見・ご要望を伺いたく存じますので、アンケートにお答え頂けますよう、よろしくお願いいたします。

~~~~~該当するところに○印をつけてください。~~~~~

### 【受診当日まで】

Q1. 事前送付資料はわかりやすいものでしたか

1.満足 2.やや満足 3.ふつう 4.やや不満 5.不満

Q2. 問診票は記入しやすいものでしたか

1.満足 2.やや満足 3.ふつう 4.やや不満 5.不満

Q3. 日程調整前に事前に問診票の記入をお願いする方法について

1.満足 2.やや満足 3.ふつう 4.やや不満 5.不満

### 【受診当日】

Q1. 受付・会計窓口での接遇について

1.満足 2.やや満足 3.ふつう 4.やや不満 5.不満

Q2. 看護師の接遇について

1.満足 2.やや満足 3.ふつう 4.やや不満 5.不満

Q3. 医師の接遇について

1.満足 2.やや満足 3.ふつう 4.やや不満 5.不満

Q4. 放射線技師・検査技師の接遇について

1.満足 2.やや満足 3.ふつう 4.やや不満 5.不満

Q5. 検診時間について

1.思ったより早かった 2.ちょうど良い 3.やや長い 4.長かった

Q6. 脳ドックの検査内容について

1.満足 2.やや満足 3.ふつう 4.やや不満 5.不満

裏面へ続きます

### 【検診結果について】

Q1. 結果説明までの期間について

- 1.満足    2.やや満足    3.ふつう    4.やや不満    5.不満

## Q2. 結果報告書について

- 1.わかりやすい      2.ややわかりやすい      3.ややわかりにくい      4.わかりにくい

【その他】

Q1. 今後も当院の脳ドックを利用したいと思いますか

- 1.はい 2.いいえ

Q2. 当院の脳ドックを他の方に紹介したいと思いますか

- 1.はい 2.いいえ

全体を通してご意見、ご要望があればご記入ください。

差し支えなければ検診を受けられた方のお名前をご記入ください。

なお、任意ですので未記入でも構いません。

お名前 様

ご記入頂いたアンケートは、返信用封筒でお送り頂けますようお願いいたします。

ご協力、ありがとうございました。

【お問合せ先】

7036-8104

青森県弘前市大字扇町一丁目2番地1

弘前脳卒中・リハビリテーションセンター

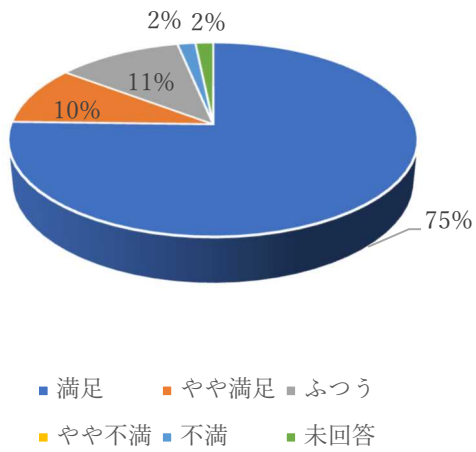
脳ドック申込担当（医事課）

電話：0172-28-8220

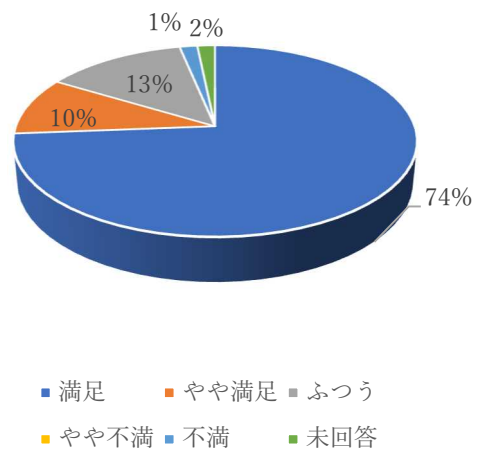
## 【アンケート結果】

<受診当日まで>

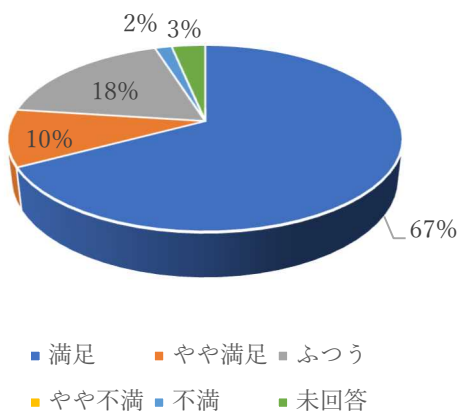
Q 1. 事前送付資料はわかりやすいものでしたか



Q 2. 問診票は記入しやすいものでしたか

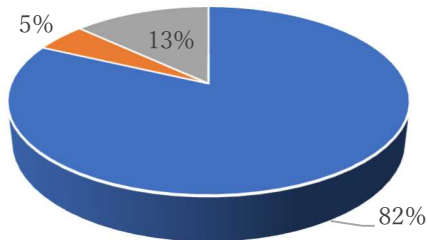


Q 3. 日程調整前に事前に問診票の記入をお願いする方法について



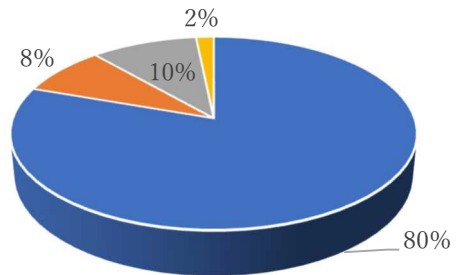
<受診当日>

Q 1.受付・会計窓口での接遇について



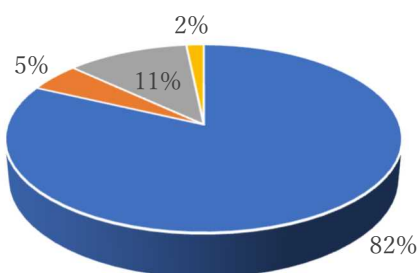
■ 満足 ■ やや満足 ■ ふつう  
■ やや不満 ■ 不満 ■ 未回答

Q 2.看護師の接遇について



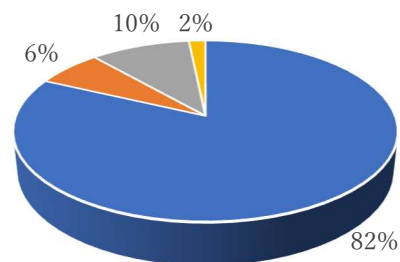
■ 満足 ■ やや満足 ■ ふつう  
■ やや不満 ■ 不満 ■ 未回答

Q 3.医師の接遇について



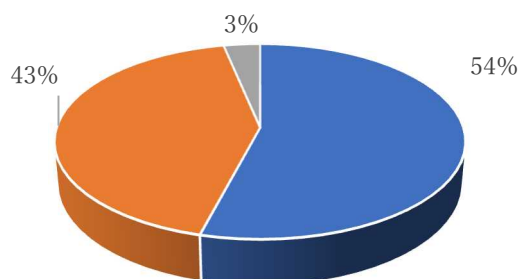
■ 満足 ■ やや満足 ■ ふつう  
■ やや不満 ■ 不満 ■ 未回答

Q 4.放射線技師・検査技師の接遇について



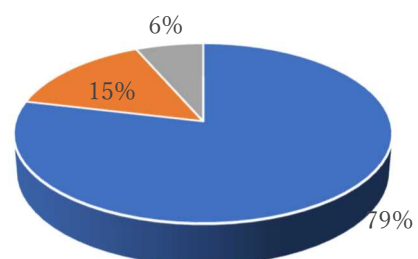
■ 満足 ■ やや満足 ■ ふつう  
■ やや不満 ■ 不満 ■ 未回答

Q 5.検診時間について



■ 思ったより早かった ■ ちょうど良い  
■ やや長い ■ 長かった  
■ 未回答

Q 6.脳ドックの検査内容について

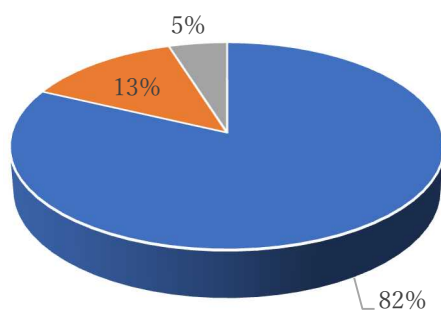


■ 満足 ■ やや満足 ■ ふつう  
■ やや不満 ■ 不満 ■ 未回答



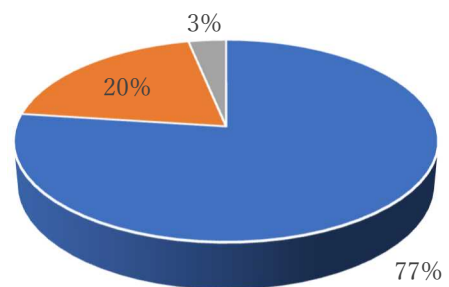
<検診結果について>

Q 1.結果説明までの期間について



■ 満足 ■ やや満足 ■ ふつう  
■ やや不満 ■ 不満 ■ 未回答

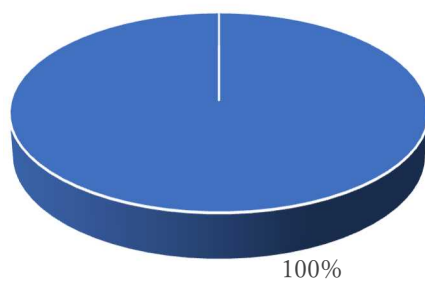
Q 2.結果報告書について



■ わかりやすい ■ ややわかりやすい  
■ ややわかりにくい ■ わかりにくい  
■ 未回答

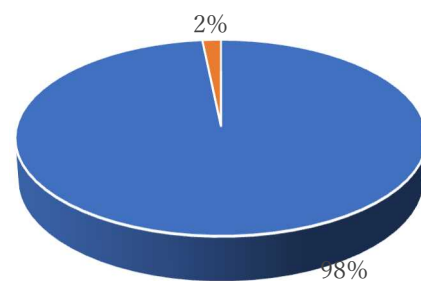
<その他>

Q 1.今後も当院の脳ドックを利用  
したいと思いますか



■ はい ■ いいえ

Q 2.当院の脳ドックを他の方に  
紹介したいと思いますか



■ はい ■ いいえ

## 心臓リハビリテーションチーム

### 1. 活動目的

本ワーキンググループは、心大血管疾患リハビリテーションを適正かつ円滑に遂行するための検討を行うことを目的とする。

### 2. 構成員 ※令和3年3月末現在

高橋 広希 (内科部長) 心臓リハビリテーション指導士  
 小野 公久 (リハ主任・作業療法士) 心臓リハビリテーション指導士  
 小山 裕美 (理学療法士) 心臓リハビリテーション指導士※令和2年12月まで  
 佐藤 勇季 (理学療法士) 心臓リハビリテーション指導士  
 鳥谷部 翔 (薬剤師長)  
 横濱 岳 (看護師長代行)  
 伊藤 敏子 (主任看護師代行)  
 熊澤 ゆかり (主任臨床検査技師)  
 鳴海 悦子 (管理栄養士長)  
 今 基 (企画運営課長)

### 3. 開催記録

| 回 | 開催日       | 内 容                                                                                             |
|---|-----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 令和2年4月10日 | CPX 練習予定確認<br>心大血管リハビリ開設後の患者教育に関して<br>急変時対応シミュレーションの検討<br>6分間歩行試験について<br>機器備品購入について             |
| 2 | 令和2年5月8日  | CPX 練習予定確認<br>心大血管リハビリ開設後の患者教育に関して<br>急変時対応シミュレーションの検討<br>6分間歩行試験について<br>第26回心リハ学術集会、演題採択について   |
| 3 | 令和2年6月12日 | CPX 練習予定確認<br>心大血管リハビリ開設後の患者教育に関して<br>急変時対応シミュレーションの検討<br>CPX 短期入院について<br>心リハ学会ホームページへの施設申請について |
| 4 | 令和2年7月10日 | CPX 練習予定確認<br>心大血管リハビリ開設後の患者教育に関して<br>急変時対応シミュレーションの検討<br>CPX 短期入院について                          |

|    |                  |                                                                                                       |
|----|------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 5  | 令和元年 8 月 7 日     | CPX 練習予定確認<br>心大血管リハビリ開設後の患者教育に関して<br>急変時対応シミュレーションの検討<br>CPX 短期入院について<br>日本心リハ学会学術集会 (WEB 開催について) 報告 |
| 6  | 令和元年 9 月 11 日    | CPX 練習予定確認<br>心大血管リハビリ開設後の患者教育に関して<br>急変時対応シミュレーションの検討<br>CPX 短期入院について                                |
| 7  | 令和 2 年 10 月 9 日  | CPX 練習予定確認<br>心大血管リハビリ開設後の患者教育に関して<br>急変時対応シミュレーションの検討<br>心不全療養指導士の育成について<br>CPX 短期入院について             |
| 8  | 令和 2 年 11 月 13 日 | CPX 練習予定確認<br>心大血管リハビリ開設後の患者教育に関して<br>急変時対応シミュレーションの検討<br>CPX 短期入院について                                |
| 9  | 令和 2 年 12 月 11 日 | CPX 練習予定確認<br>心大血管リハビリ開設後の患者教育に関して<br>急変時対応シミュレーションの検討<br>CPX 短期入院について                                |
| 10 | 令和 3 年 1 月 8 日   | CPX 練習予定確認<br>心大血管リハビリ開設後の患者教育に関して<br>急変時対応シミュレーションの検討<br>日帰り CPX 実施対応について<br>回復期リハ病棟患者の CPX 実施について   |
| 11 | 令和 3 年 2 月 9 日   | CPX 練習予定確認<br>心大血管リハビリ開設後の患者教育に関して<br>急変時対応シミュレーションの検討<br>回復期リハ病棟患者の CPX 実施について                       |
| 12 | 令和 3 年 3 月 12 日  | CPX 練習予定確認<br>心大血管リハビリ開設後の患者教育に関して<br>急変時対応シミュレーションの検討<br>回復期リハ病棟患者の CPX 実施について                       |

#### 4. 活動要約

- ・心臓リハビリテーションを円滑に行うために、機器の選択やプロトコルの決定を多部門で行っている。

## 口腔ケアワーキンググループ

### 1. 活動目的

本チームは、一般財団法人黎明郷 弘前脳卒中・リハビリテーションセンターにおける入院患者の口腔衛生の向上と維持のために活動するものである。

### 2. 構成員 ※令和3年3月末現在

リーダー 盛 亨子 (言語聴覚室長)

サブリーダー 小山内 瞳 ((歯科衛生士)

メンバー 佐藤 奈月 (作業療法士) 横山 葵 (歯科衛生士)

小山 美津希 (看護師) 前田 遥佳 (看護師) 柳館 賢志 (看護師)

須藤 賢登 (看護師) 福士 育子 (看護師) 石岡 明美 (看護師)

小笠原 瑞穂 (看護師) 西岡 華帆 (看護師) 石黒 智子 (看護師)

佐藤 輝美 (看護師) 小林 学人 (看護師)

オブザーバー 小田桐 千代 (看護師長) 佐藤 奈奈 (看護師長代行)

### 3. 委員会開催記録

| 回 | 開催日       | 内 容                                                                          |
|---|-----------|------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 令和2年4月8日  | 本年度活動計画の確認<br>口腔ケア手技チェック進捗状況の確認<br>口腔アセスメント運用状況報告                            |
| 2 | 令和2年5月13日 | 口腔ケア手技チェック進捗状況の確認<br>口腔アセスメント運用状況報告                                          |
| 3 | 令和2年6月3日  | 口腔ケア手技チェック進捗状況の確認<br>口腔アセスメント運用状況報告<br>口腔内環境把握のための取り組み・計画について                |
| 4 | 令和2年7月1日  | 口腔ケア手技チェック進捗状況の確認<br>口腔アセスメント運用状況報告<br>口腔内環境把握のための取り組み・計画について                |
| 5 | 令和2年8月5日  | 口腔保湿剤変更報告<br>非経口摂取患者口腔粘膜処置加算運用開始報告                                           |
| 6 | 令和2年9月2日  | 口腔ケア手技チェック進捗状況の確認<br>口腔アセスメント運用状況報告<br>OTの口腔ケア介入について<br>口腔ケア一部介助患者の病棟での対応の検討 |
| 7 | 令和2年10月7日 | 口腔ケア手技チェック進捗状況の確認<br>口腔アセスメント運用状況報告<br>OTによる歯磨き訓練の対象について                     |
| 8 | 令和2年11月4日 | 口腔ケア手技チェック進捗状況の確認<br>OTによる歯磨き訓練の対象について                                       |

|    |           |                                                                              |
|----|-----------|------------------------------------------------------------------------------|
| 9  | 令和2年12月2日 | 口腔ケア手技チェック進捗状況の確認<br>口腔ケア一部介助患者の病棟での対応の検討                                    |
| 10 | 令和3年1月6日  | 口腔ケア手技チェック進捗状況の確認<br>口腔ケアアセスメントシートの運用ならびに、口腔ケア一部介助患者の病棟での対応の検討               |
| 11 | 令和3年2月3日  | 口腔ケア手技チェック進捗状況の確認<br>口腔ケアアセスメントシートの運用ならびに、口腔ケア一部介助患者の病棟での対応の検討<br>次年度の課題について |
| 12 | 令和3年3月3日  | 口腔ケア手技チェック進捗状況の確認<br>次年度の活動検討                                                |

#### 4. 活動要約

- ・ 前年度から始めた看護師の口腔ケアの手技確認を一通り完了させ、看護師が口腔ケアに取り組みやすい環境を整える足掛かりを作った。
- ・ 経口摂取をしても口腔ケアに介助が必要な患者さんが多くいることを再確認し、そのような患者さんのケアの方法について資料を病棟に配布し周知した。
- ・ 活動を通し、今後の課題提起ができた。

令和3年3月31日発行

【編集】弘前脳卒中・リハビリテーションセンター 広報委員会

|     |                        |
|-----|------------------------|
| 委員長 | 目 時 典 文（内科部長）          |
| 委 員 | 樋 口 三枝子（看護部長）          |
|     | 算用子 暁 美（リハビリテーション部技師長） |
|     | 鳥谷部 翔 （薬剤師長）           |
|     | 立 林 修 （庶務課長）           |